

大阪府大阪市在宅医療懇話会 開催報告

議題

(1) 在宅医療に必要な連携を担う拠点等の取組について

(2) 大阪市域における在宅医療連携拠点事業の取組について

(3) 令和6年度大阪市域における在宅医療・介護連携推進事業の取組について

(4) 地域医療介護総合確保基金（医療分）について

(5) その他

・人生会議（ACP）の取組について

令和7年10月31日開催
大阪府大阪市在宅医療懇話会資料抜粋

在宅医療に必要な連携を担う拠点等の 取組について （府域における補助事業の申請状況の報告）

令和7年10月31日
大阪府健康医療部保健医療室
保健医療企画課

(1)サービス基盤整備推進事業(補助事業)の申請状況

(R7.8.29現在)

＜＜1. 連携の拠点＞＞

圏 域	申請数
豊能（4拠点）	2拠点
三島（4拠点）	1拠点
北河内（6拠点）	4拠点
中河内（5拠点）	5拠点
南河内（6拠点）	2拠点
堺市（1拠点）	1拠点
泉州（6拠点）	2拠点
大阪市（24拠点）	24拠点

＜＜2. 積極的医療機関＞＞ （R7.4.1現在 333機関）

圏 域	申請数（内、他医療機関への 調整・支援の申請件数）
豊能（13機関）	2機関（0）
三島（37機関）	1機関（0）
北河内（27機関）	3機関（0）
中河内（24機関）	5機関（0）
南河内（52機関）	3機関（0）
堺市（12機関）	0機関（0）
泉州（16機関）	1機関（0）
大阪市（152機関）	29機関（0）

(2)連携の拠点に求められる事項と申請内容からの取組紹介

①会議の開催（③急変時の対応等の体制構築等を含む）

目的等	概要	主な参加者
より質の高い体制の構築	拠点と積極的医療機関による定期的な連携会議を設け、地区における在宅医療の現状把握・課題解決のための意見交換・検討（大阪市）	連携の拠点、積極的医療機関等
急変時体制／24時間体制の構築	積極的医療機関・連携の拠点・地域のクリニックによる在宅提供体制づくり （緊急時対応を含む）に関する意見交換・検討会（枚方市医師会）	連携の拠点、積極的医療機関、地域の診療所、行政（健康づくり課、保健所）
	積極的医療機関の現状や抱えている課題等を共有し、 24時間対応体制を目標に、課題改善点の協議やICT活用等 について検討（河内医師会）	医師会（拠点）、積極的医療機関、行政
	拠点が緊急対応時において、 積極的医療機関（病院、診療所）への振り分けに関するルール作り を検討（岸和田市医師会）	医師、医師会事務
ACP関連	延命治療を望まない人への「大阪府版活動要領」と「CPR基本プロトコル」の一部改正についての周知を検討 （大東・四條畷医師会）	救急隊員、病院医師、地域かかりつけ医、訪問看護師、在宅医療・介護救急医療関係者
	ACP普及啓発や救急プロトコルについての意見交換及び 難病患者の在宅医療について の意見交換（寝屋川市医師会）	医師、行政（市保健予防課）、高齢介護室等
	ACP認知度の向上を図る 実務を担う多職種チーム（目的別検討運営G、知識を高めるG、理解を拡げるG）を立ち上げ 、活動方法やチームとしての周知方法等を検討（交野市医師会）	医師、作業療法士、包括支援センター職員、介護支援専門員、行政等
災害関連	災害時の避難をスムーズに進めるための医ケア児・者レスパイト入院システムの構築 にむけた情報の共有化や 地域住民をはじめ医療・介護関係者との共通認識を図る ための講演会について検討（布施医師会）	医師（医師会）、コーディネーター、放課後デイサービス担当者、医療的ケア児コーディネーター、支援学校関係者、訪問看護ステーション担当者
	応急対策後の生活安定期および復旧支援移行時について 、災害時の支援活動を行う 関係機関（保健・医療・福祉）の平時からの情報共有 及び、災害発生時に迅速かつ効果的な支援の具体的な方策を議論（堺市医師会）	行政・医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護ステーション協会・介護支援専門員協会、老人福祉施設部会・理学療法士会、地域包括支援センター

(2)連携の拠点に求められる事項と申請内容からの取組紹介

②地域の資源の把握・関係機関との調整

目的等	手法	成果物（予定）
実態把握と普及啓発	訪問診療の課題や今後の発展性について往診・訪問診療を行う医療機関へアンケート調査を実施し、副主治医制が進まない理由について分析しグループ診療体制構築への進展を図る（大東・四條畷医師会）	アンケート結果及び訪問診療の課題や今後の発展性についての調査結果
ACP関係	学区単位で地域住民を対象としたACP個別説明会及びヒアリング調査（交野市医師会）	説明会参加住民のACP理解度率アップと、住民目線のACPが広がらない要因を集約し、効果的な周知方法について検討
	救急隊員の活動支援について、高齢者救急とACPに関する課題の抽出と対応策の検討（和泉市医師会）	メディカルコントロール協議会の活動要領に準じ、医師会としての意見を集約
ICTを活用した連携連携	他地域の先進事例の調査・視察及び医師会員を対象とした在宅医療におけるICTシステム導入状況の調査、自地域におけるICT活用スキーム作成（枚方市医師会）	調査結果まとめ、ICT運用規約・様式・サポート体制案等
	病診・診診連携の円滑化に向けた、積極的医療機関との個別面談及びWEB講義による連携ツール導入支援（八尾市医師会）	情報連携ツール導入医療機関数の把握、導入支援動画の作成及び医師会HPでの公開等
	積極的医療機関との連携づくりにICT（バイタルリンク）を活用し、医師会が拠点として、積極的医療機関をはじめ在宅医療に関わる医療機関に対して協力体制を進める（岸和田市医師会）	積極的医療機関をはじめ在宅医療に関わる医療機関に対して協力体制の構築
平時の体制構築	在宅医療連携コーディネーターを配置し、通院困難時等患者の受入を、地域の在宅医グループまたは積極的医療機関へつなげる。（豊中市・豊中市医師会）	地域の在宅医グループまたは積極的医療機関による在宅患者受け入れ体制の構築
	すでに地域の自治会等と関係性を有している社会福祉協議会と情報共有、直接の対話を通じて当該地区の課題抽出と課題解決に向けた対応策を検討（大阪狭山市医師会）	検討結果及び当該地区に存在する医療機関にも加わってもらい、関係性を新たに作ることで相談事業の拡張
	連携の拠点が中心となり、医師会が委託する他の医療機関の支援を行うSACAY在宅医チームを構築。調整費制度を導入し、互いの連携を以って医師の負担軽減を図り、地域の在宅医療の体制整備を進める（堺市医師会）	在宅医師の代診制チームの構築
災害時の対応	積極的医療機関と共に災害時非常用電源の運用について検討（枚方市医師会）	災害時非常用電源貸出の運用手順等

(2)連携の拠点に求められる事項と申請内容からの取組紹介

④在宅医療にかかる研修

目的等	内容	対象
ACP関連	在宅医療や施設における ACPの取組と救急搬送 について、現状を共有し、 医療介護関係者それぞれが役割を認識し、在宅療養患者・家族の支援に活かせる知識を身につけることを目的とした研修会 （河内長野市医師会）	医師、看護師、その他コメディカル、ケアマネ、社会福祉士等
ICT関連	在宅医療におけるICT連携の必要性について理解するための、 多職種連携ICTネットワーク説明会 （枚方市医師会）	医師、訪問看護師、MSW、行政職員等
医療的知識	地域医療支援病院における「 循環器内科ホットライン 」の開設と在宅医療連携についての研修会（池田市医師会）	病院医師、看護師、医師会員
	退院時連携の場面において 訪問看護事業所等が初期対応に苦慮するケースの解決を図る ため、退院支援の好事例紹介や、グループディスカッションを盛り込んだ多職種連携研修会（茨木市）	地域連携室MSW、退院支援に関わる看護職、訪問看護職、介護支援専門員、障がい者相談支援専門員等
	市内における在宅往診チーム数の増加、拡大を図る、 既存在宅往診チームによる活動報告 （門真市医師会）	医師
	適切な時期に患者の状態に応じた病院や診療科を選択することができるよう、入院支援の向上及び医師同士の関係性を深めるための 在宅医向け 病院実習（救急医療、地域連携室、病棟見学、手術支援ロボットの説明等） （堺市医師会）	医師
	緊急時トリアージマニュアルやかかりつけ医のための訪問診療マニュアル等の周知研修 （泉大津市医師会）	病院関係者、かかりつけ医など地域の医師
	在宅医療・緩和ケアの現場から 、死生観の深化や在宅医療・緩和ケアの理解促進、ACPの実践力向上等をめざす研修（布施医師会）	医療介護福祉従事者
災害関連	在宅医療にかかる災害時対応について、 実践を交えた災害訓練 （交野市医師会）	医師、作業療法士、包括支援センター職員、介護支援専門員、行政等
	在宅療養者に関わる医療・介護・福祉・行政の多職種が、避難行動要支援者制度の仕組みと実務を学び 、災害時の情報共有と連携の実践力を高める研修（和泉市医師会）	地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）、訪問看護・介護事業所職員、民生委員・自主防災関係者、医療・福祉施設の防災担当者

(2)連携の拠点に求められる事項と申請内容からの取組紹介

⑤在宅医療の普及啓発

目的等	内容	対象
医療的知識	住民等に対し、緊急時の対応方法については、 家庭用緊急時判断マニュアルを配布、5つの場面を想定した寸劇を用いた説明会 （泉大津市医師会）	住民等
	内科、歯科、言語聴覚士、管理栄養士による 誤嚥性肺炎を予防のための在宅におけるポイントを学ぶ研修会（大東・四條畷医師会）	住民
ACP関連	地域住民であり支援者でもある民生委員に対し 、在宅医療の現状やACPについて啓発（枚方市医師会）	民生委員
	ポジティブな雰囲気を持ちネガティブな印象にならないよう、もしばなカードを使い 、自己決定の尊重や未来への備えなどを考えるきっかけを提供する研修会（堺市医師会）	住民
	ACP推進にかかるロゴマークを看護学校と連携し作成し 、そのロゴ入り啓発グッズを複数の住民向けイベントで配布し啓発（泉佐野泉南医師会）	住民

令和7年10月31日開催
大阪府大阪市在宅医療懇話会資料抜粋

医療計画における在宅医療の指標及び各圏域の参考指標の状況

区別データ <大阪市二次医療圏>

令和7年10月31日
大阪府健康医療部保健医療室
保健医療企画課

内 容

I 圏域ごとのデータ

1. 訪問診療を実施している病院・診療所数
2. 訪問診療件数(病院・診療所)
3. 往診を実施している病院・診療所数
4. 在宅看取りを実施している病院・診療所数
5. 在宅看取り件数(病院・診療所)
6. 在宅療養支援診療所数
7. 在宅療養支援病院数
8. 在宅療養後方支援病院数
9. 積極的医療機関数
10. 入退院支援加算を算定する病院・診療所数
11. 介護支援連携指導料を実施している病院・診療所数
12. 入退院機関とケアマネジャーの連携数
(介護支援連携指導料件数)
13. 在宅医療情報連携加算を届出した病院・診療所数
14. 協力対象施設入所者入院加算を届出した病院・診療所数
15. 介護保険施設等連携往診加算を届出した病院・診療所数
16. 在宅歯科医療サービスを実施している歯科診療所
17. 在宅療養支援歯科診療所数
18. 在宅薬学総合体制加算を届出した薬局数
(参考:R6まで)在宅患者調剤加算を届出した薬局数
19. 訪問看護ステーション数
20. 訪問看護師によるターミナルケアを受けた患者数

II 大阪市圏域における区別データ

＜人口統計＞

1. 人口と高齢化率
2. 世帯数と高齢者単身世帯の割合
3. 病院死と自宅死、老人ホーム死の割合

1. 訪問診療を受けた患者数
2. 在宅療養支援診療所数
3. 在宅療養支援病院数
4. 入退院支援加算を算定する施設数
5. 在宅療養支援歯科診療所数
6. 在宅患者調剤加算を届出した薬局数
7. 訪問看護ステーション数

I 圏域ごとのデータ

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況①

1. 訪問診療を実施している病院・診療所数

	H29	R2	R5	人口10万人 あたり施設数
豊能	223	251	261	24.6
三島	156	156	153	20.2
北河内	224	244	228	20.4
中河内	177	189	176	21.6
南河内	132	165	145	25.1
堺市	201	211	197	24.3
泉州	199	207	209	24.2
大阪市	831	838	793	28.6
大阪府	2,143	2,261	2,162	24.6
全国	22,869	23,160	21,810	

出典:厚生労働省(医療施設調査)

調査時点:各年10月1日

人口は大阪府人口推計 令和5年10月1日現在

(施設)

2,500

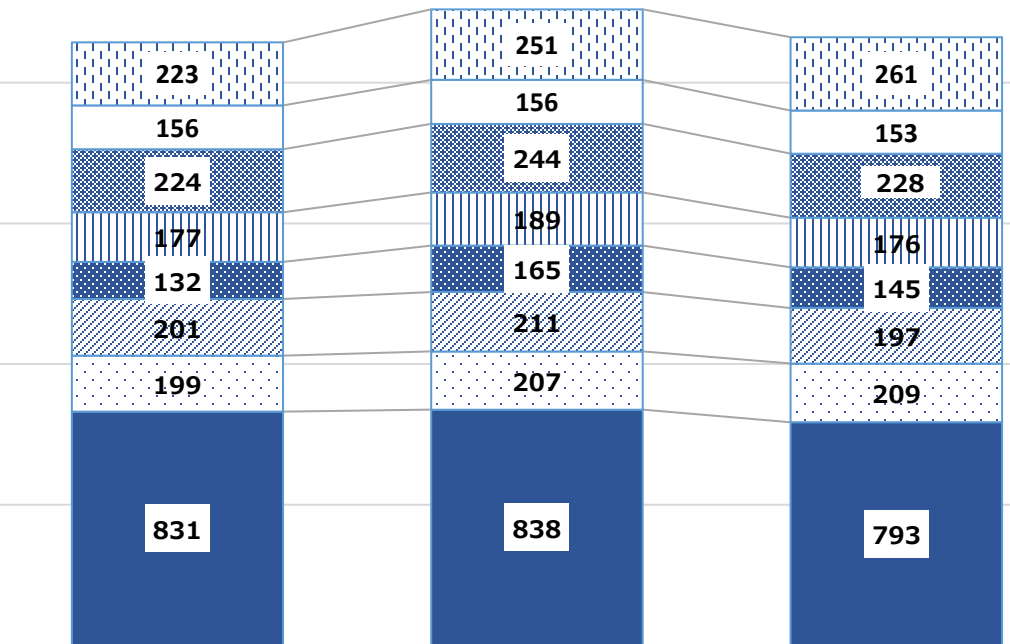
2,000

1,500

1,000

500

0



H29

R2

R5

■ 大阪市 □ 泉州 ▨ 堺市 ■ 南河内 ▨ 中河内 ■ 北河内 □ 三島 ▨ 豊能

訪問診療を実施している病院・診療所数について、R5はR2と比較して大阪府全体で減少したもののH29と比較すると、半数の医療圏域において増加傾向であり、大阪府全体では、R5はH29の約1.01倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況②

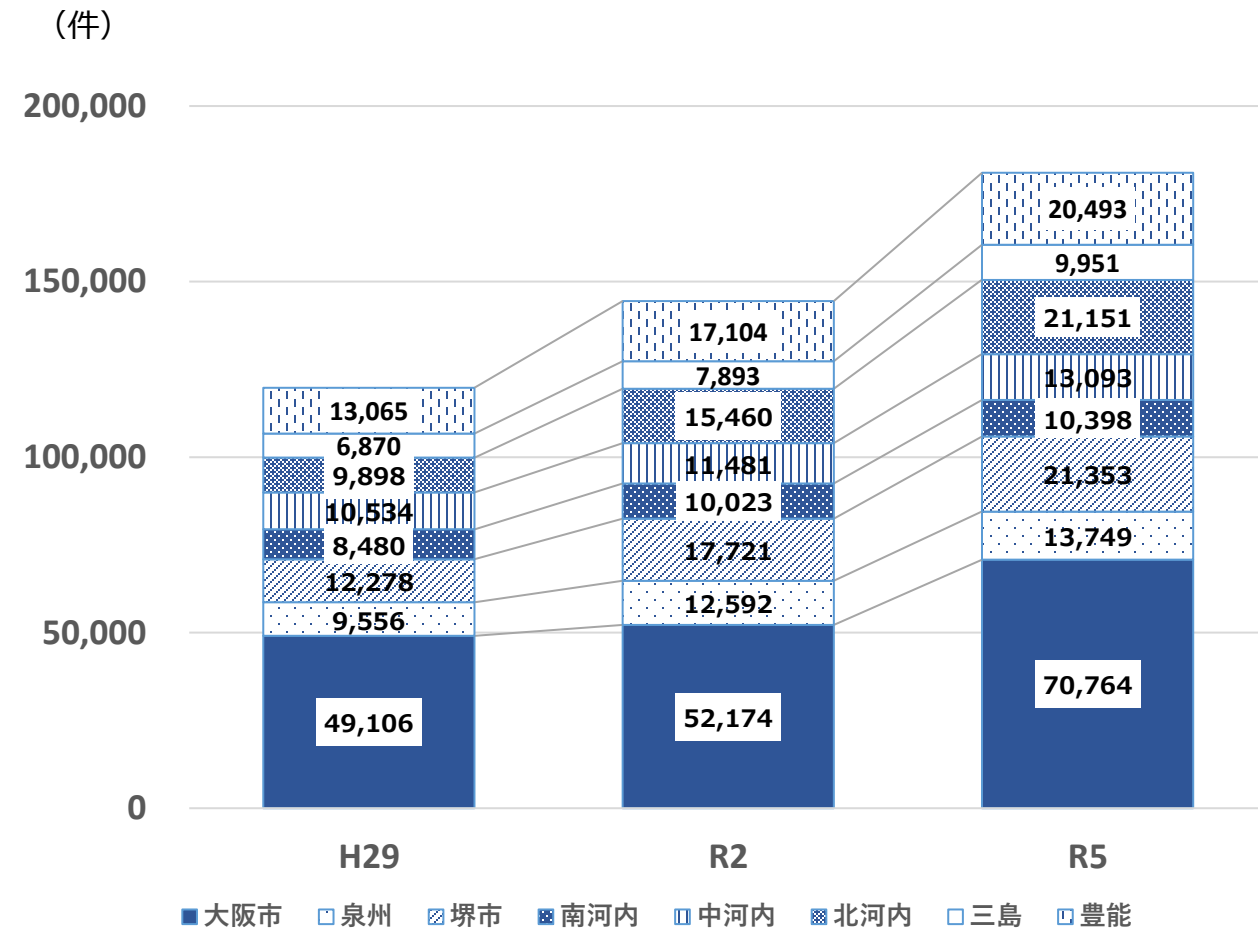
2. 訪問診療件数(病院・診療所)

	H29	R2	R5	人口1000人 あたり件数
豊能	13,065	17,104	20,493	19.3
三島	6,870	7,893	9,951	13.2
北河内	9,898	15,460	21,151	18.9
中河内	10,534	11,481	13,093	16.1
南河内	8,480	10,023	10,398	18.0
堺市	12,278	17,721	21,353	26.3
泉州	9,556	12,592	13,749	15.9
大阪市	49,106	52,174	70,764	25.5
大阪府	119,787	144,448	180,952	20.6
全国	1,228,040	1,477,229	1,735,830	

出典:厚生労働省(医療施設調査)

数値は各年9月1か月間の値

人口は大阪府人口推計 令和5年10月1日現在



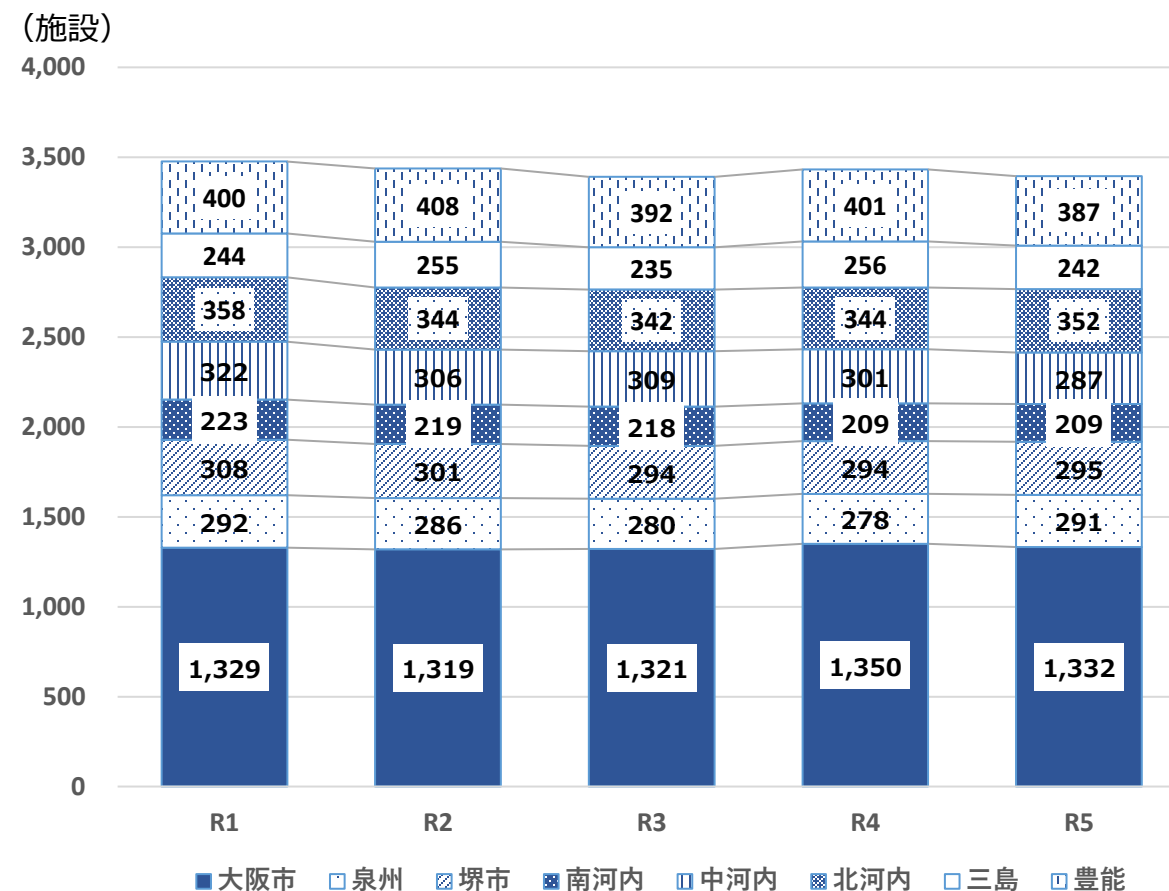
病院及び診療所における訪問診療件数について、R5は全圏域で増加し、大阪府全体でH29の約1.51倍となっている。

【圏域別】 医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況③

3. 往診を実施している病院・診療所数

	R1	R2	R3	R4	R5
豊能	400	408	392	401	387
三島	244	255	235	256	242
北河内	358	344	342	344	352
中河内	322	306	309	301	287
南河内	223	219	218	209	209
堺市	308	301	294	294	295
泉州	292	286	280	278	291
大阪市	1,329	1,319	1,321	1,350	1,332
大阪府	3,476	3,438	3,391	3,433	3,395

出典：NDBデータ(医療計画支援データブック)



往診を実施している病院・診療所数は、大阪府全体でR1からR5にかけてわずかに減少している。R4からR5にかけては北河内圏域、堺市圏域、泉州圏域において増加し、豊能圏域、三島圏域、中河内圏域、大阪市圏域において減少した。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況④

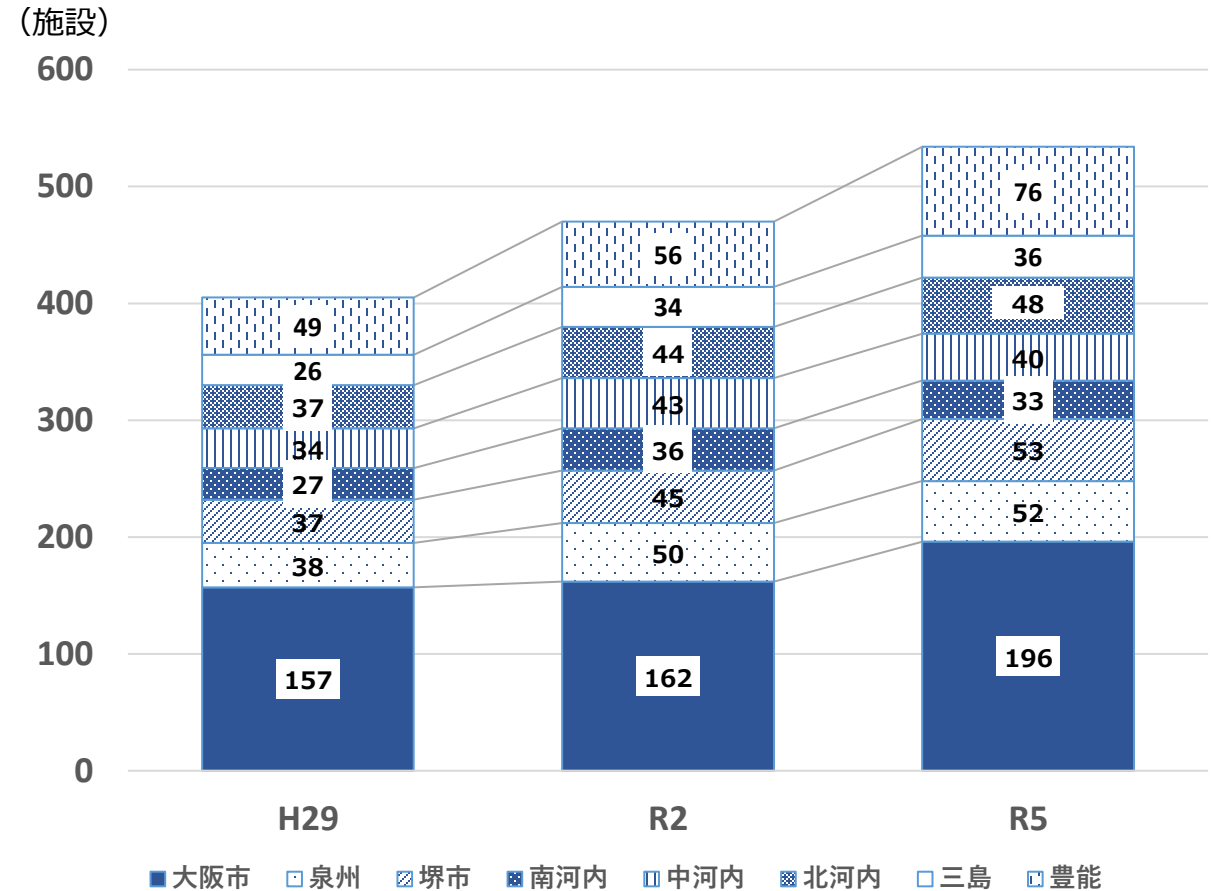
4. 在宅看取りを実施している病院・診療所数

	H29	R2	R5	人口10万人 あたり施設数
豊能	49	56	76	7.2
三島	26	34	36	4.8
北河内	37	44	48	4.3
中河内	34	43	40	4.9
南河内	27	36	33	5.7
堺市	37	45	53	6.5
泉州	38	50	52	6.0
大阪市	157	162	196	7.1
大阪府	405	470	534	6.1
全国	5,312	6,043	6,604	

出典：厚生労働省（医療施設調査）

調査時点：各年10月1日

人口は大阪府人口推計 令和5年10月1日現在



在宅看取りを実施している病院・診療所数は、全圏域においてH29から増加傾向にあり、大阪府全体で、R5はH29の約1.32倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑤

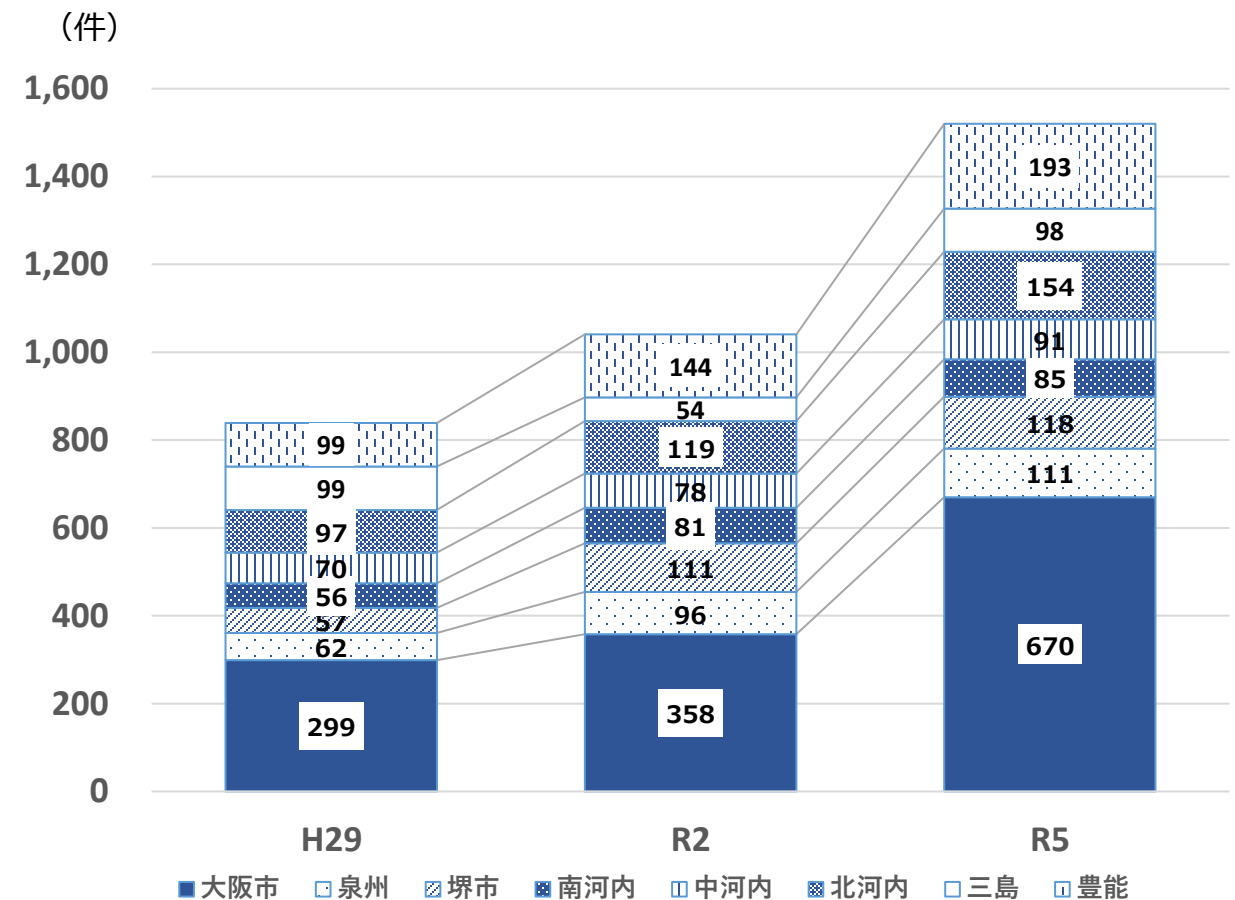
5. 在宅看取り件数(病院・診療所)

	H29	R2	R5	人口10万人 あたり件数
豊能	99	144	193	18.2
三島	99	54	98	13.0
北河内	97	119	154	13.8
中河内	70	78	91	11.2
南河内	56	81	85	14.7
堺市	57	111	118	14.5
泉州	62	96	111	12.8
大阪市	299	358	670	24.2
大阪府	839	1,041	1,520	17.3
全国	11,286	15,285	20,112	

出典:厚生労働省(医療施設調査)

数値は各年9月1か月間の値

人口は大阪府人口推計 令和5年10月1日現在



在宅看取りを実施している病院及び診療所での看取り件数は、三島圏域を除き、H29から増加傾向にあり、大阪府全体では、R5はH29の約1.81倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑥

6. 在宅療養支援診療所数

	R3	R4	R5	R6	R7	人口10万人 あたり施設数
豊能	197	206	193	200	210	19.8
三島	150	156	153	159	162	21.5
北河内	150	154	150	156	162	14.6
中河内	156	155	145	146	149	18.4
南河内	113	113	107	111	115	20.2
堺市	172	174	170	175	178	22.1
泉州	127	134	127	132	138	16.1
大阪市	743	764	707	739	769	27.5
大阪府	1,808	1,856	1,752	1,818	1,883	21.5

出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

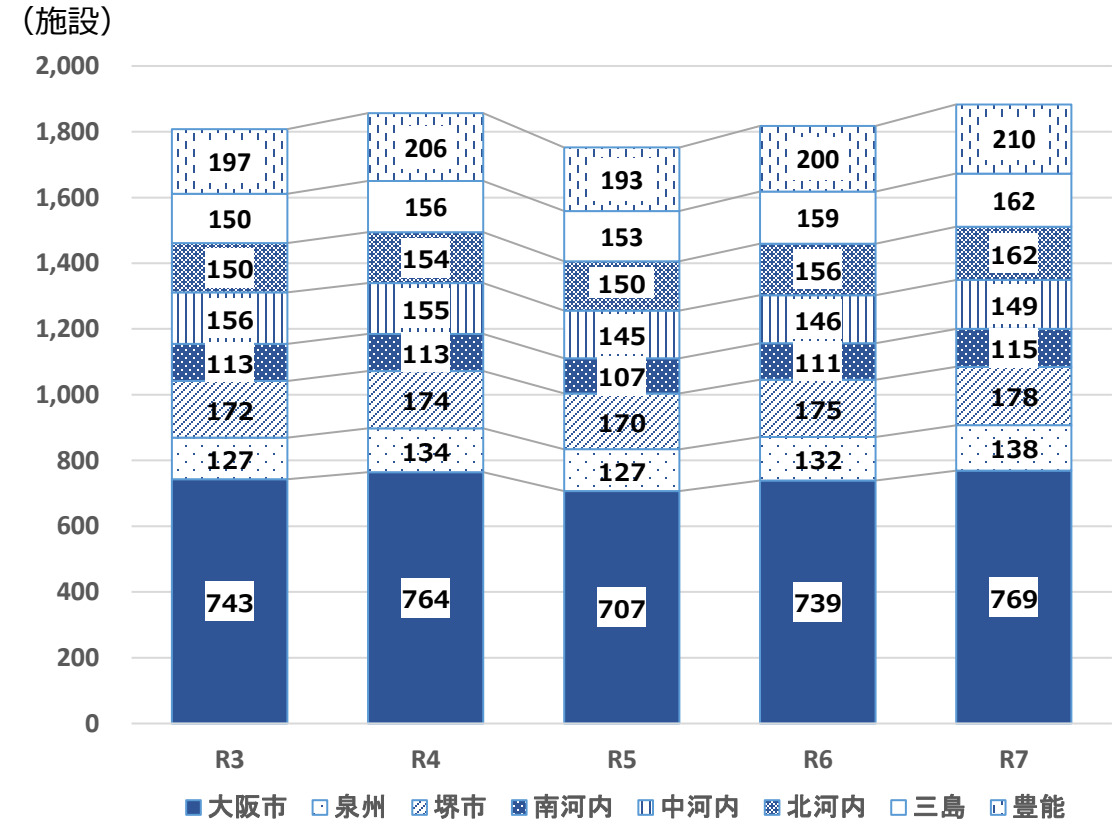
調査時点：各年4月1日

人口は大阪府人口推計 令和7年4月1日現在

在宅療養支援診療所数は、すべての圏域でR5は減少※したが、R6以降は2年連続で増加している。
大阪府全体で施設数について、R7はR3の約1.04倍となっている。

※R4診療報酬改定で、施設基準が変更され、厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた適切な意思決定支援に係る指針の作成が要件となり、新基準を満たさなかった診療所のうち、経過措置期間が終了し、届け出なかった施設があったと想定される。

在宅療養支援診療所：
訪問診療を、24時間・365日体制の緊急コールセンターと共に提供できる診療所



【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑦

7. 在宅療養支援病院数

	R3	R4	R5	R6	R7	人口10万人 あたり施設数
豊能	11	11	11	12	12	1.1
三島	6	5	5	5	5	0.7
北河内	19	20	22	22	22	2.0
中河内	8	9	9	10	11	1.4
南河内	14	14	14	14	14	2.5
堺市	12	12	13	13	13	1.6
泉州	20	20	20	23	25	2.9
大阪市	40	41	39	45	49	1.7
大阪府	130	132	133	144	151	1.7

出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

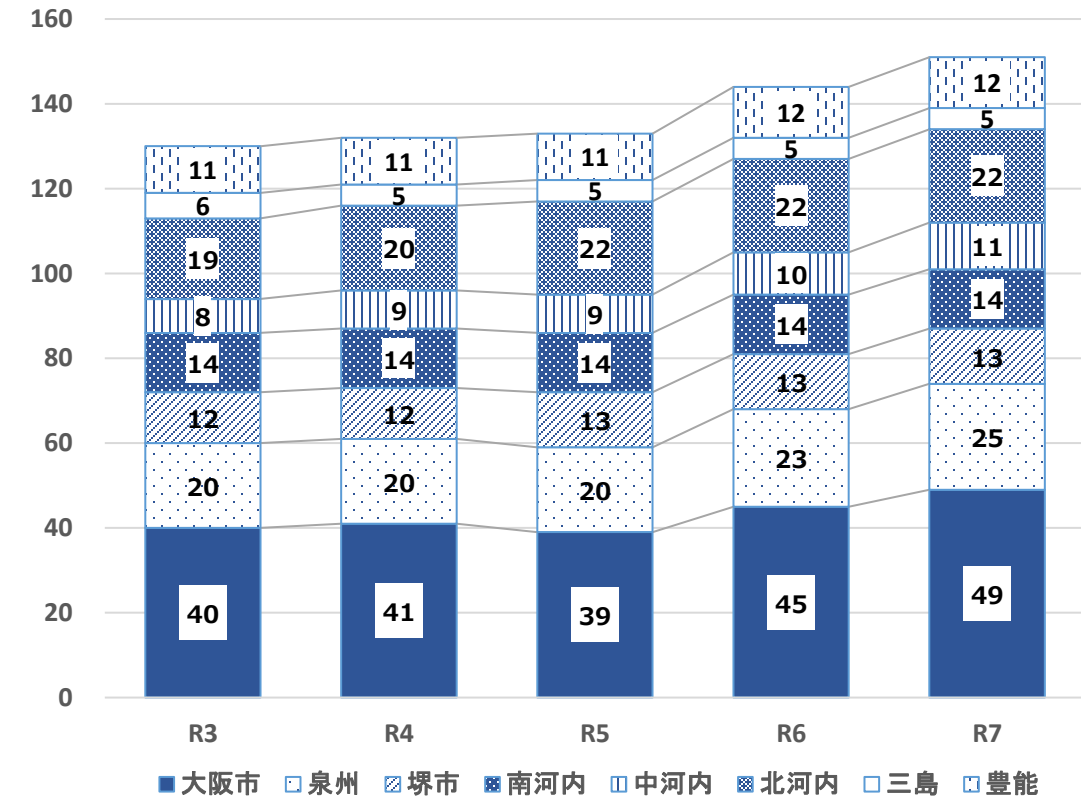
調査時点：各年4月1日

人口は大阪府人口推計 令和7年4月1日現在

在宅療養支援病院：

訪問診療を、24時間・365日体制の緊急コールセンターと共に提供できる病院

（施設）



在宅療養支援病院は、中河内圏域、泉州圏域、大阪市圏域でR6より増加し、他の圏域では横ばいである。大阪府全体で微増が続いており、大阪府全体で、R7はR3の約1.16倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑧

8. 在宅療養後方支援病院数

	R3	R4	R5	R6	R7	人口10万人 あたり施設数
豊能	6	7	7	8	8	0.76
三島	6	6	6	5	5	0.66
北河内	3	3	3	3	3	0.27
中河内	2	2	2	3	3	0.37
南河内	3	3	3	3	5	0.88
堺市	5	5	6	6	6	0.75
泉州	4	4	6	7	6	0.70
大阪市	19	19	20	21	24	0.86
大阪府	48	49	53	56	60	0.68

出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

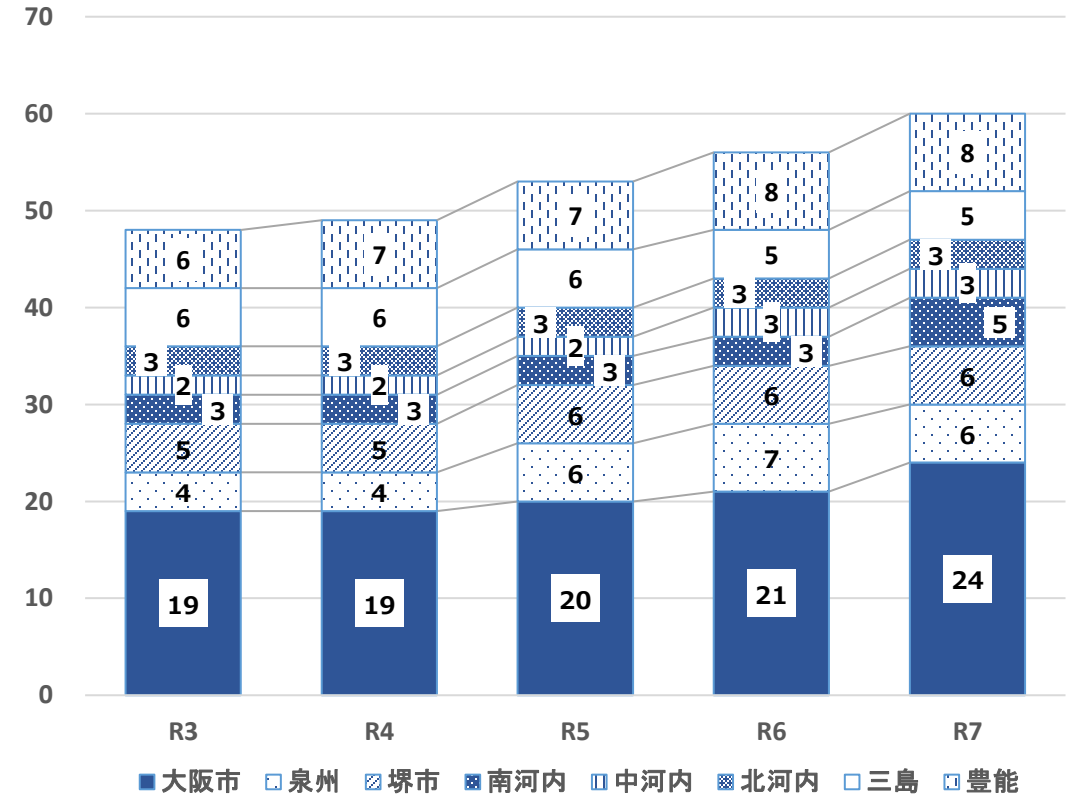
調査時点：各年4月1日

人口は大阪府人口推計 令和7年4月1日現在

在宅療養後方支援病院：

在宅医療を提供する医療機関の求めに応じて、入院を希望する患者の診療が24時間可能な体制を確保する病院

（施設）



在宅療養後方支援病院は、南河内圏域、大阪市圏域でR6より増加し、泉州圏域以外の他の圏域では横ばいである。大阪府全体で微増が続いており、大阪府全体で、R7はR3の1.25倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑨

9. 積極的医療機関数

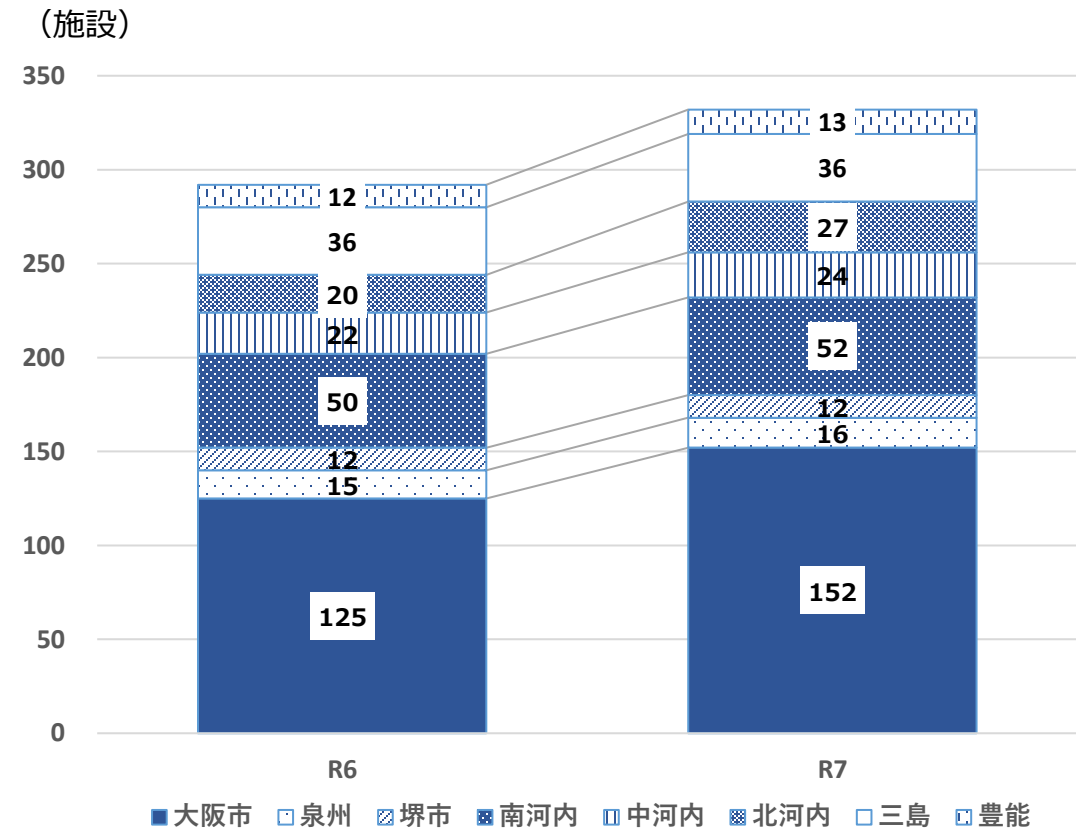
	R6	R7	人口10万人 あたり施設
豊能	12	13	1.23
三島	36	36	4.77
北河内	20	27	2.43
中河内	22	24	2.97
南河内	50	52	9.13
堺市	12	12	1.49
泉州	15	16	1.87
大阪市	125	152	5.43
大阪府	292	332	3.79

出典：大阪府ホームページ

調査時点：令和6は10月1日、令和7は6月1日現在

人口は大阪府人口推計 令和7年4月1日現在

在宅医療において積極的役割を担う医療機関（第8次大阪府医療計画にて設定）：
自ら24時間対応体制の在宅医療を提供するとともに、他の医療機関の支援も行いながら、医療や介護、障がい福祉の現場での多職種間連携の支援を行う病院・診療所



積極的医療機関数は、三島圏域、堺市圏域以外の圏域で増加し、大阪府全体でR7はR6の約1.14倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑩

10. 入退院支援加算を算定する病院・診療所数

	R3	R4	R5	R6	R7	人口10万人 あたり施設数
豊能	31	30	29	30	32	3.0
三島	24	25	24	24	23	3.0
北河内	38	37	39	40	41	3.7
中河内	21	21	20	19	19	2.3
南河内	23	23	24	22	22	3.9
堺市	19	19	22	22	24	3.0
泉州	28	29	33	35	34	4.0
大阪市	85	89	89	90	92	3.3
大阪府	269	273	280	282	287	3.3

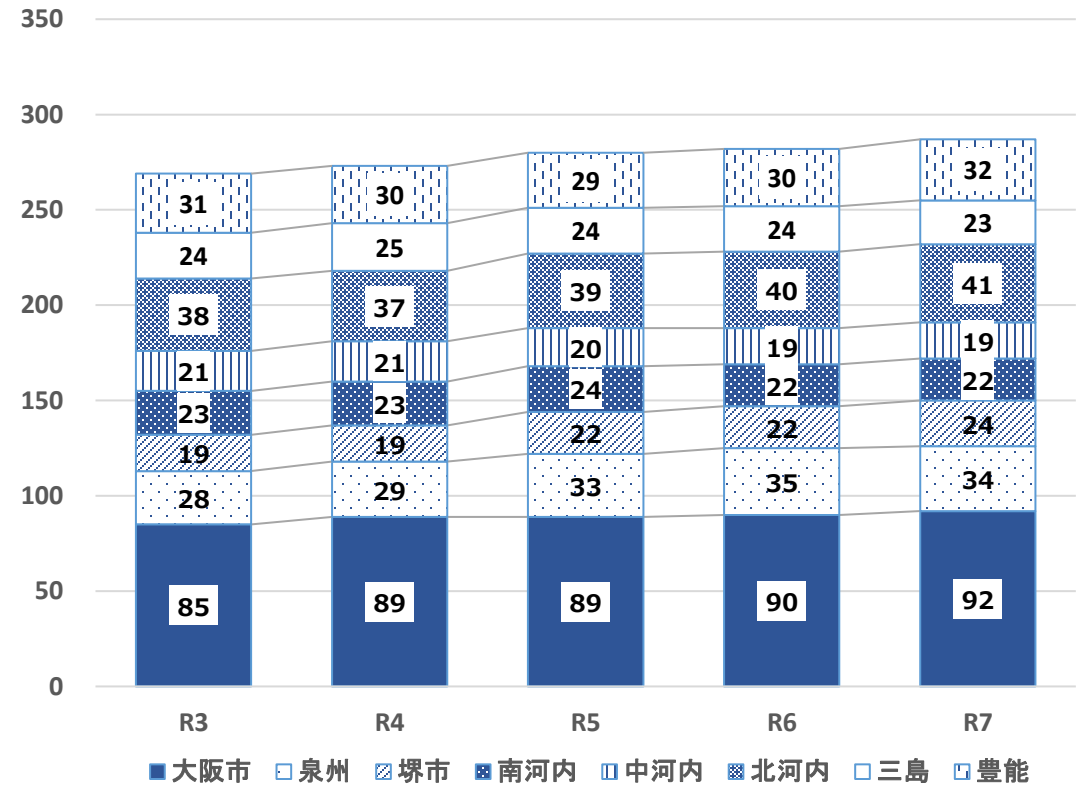
出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

調査時点：各年4月1日

人口は大阪府人口推計 令和7年4月1日現在

入退院支援加算：
施設間の連携を推進した上で、入院早期より退院困難な要因を有する患者を抽出し、
入退院支援を実施することを評価するもの

（施設）



入退院支援加算を算定する病院、診療所数は、豊能圏域、北河内圏域、堺市圏域、大阪市圏域でR6より増加している。大阪府全体では微増が続いており、R7はR3の約1.07倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑪

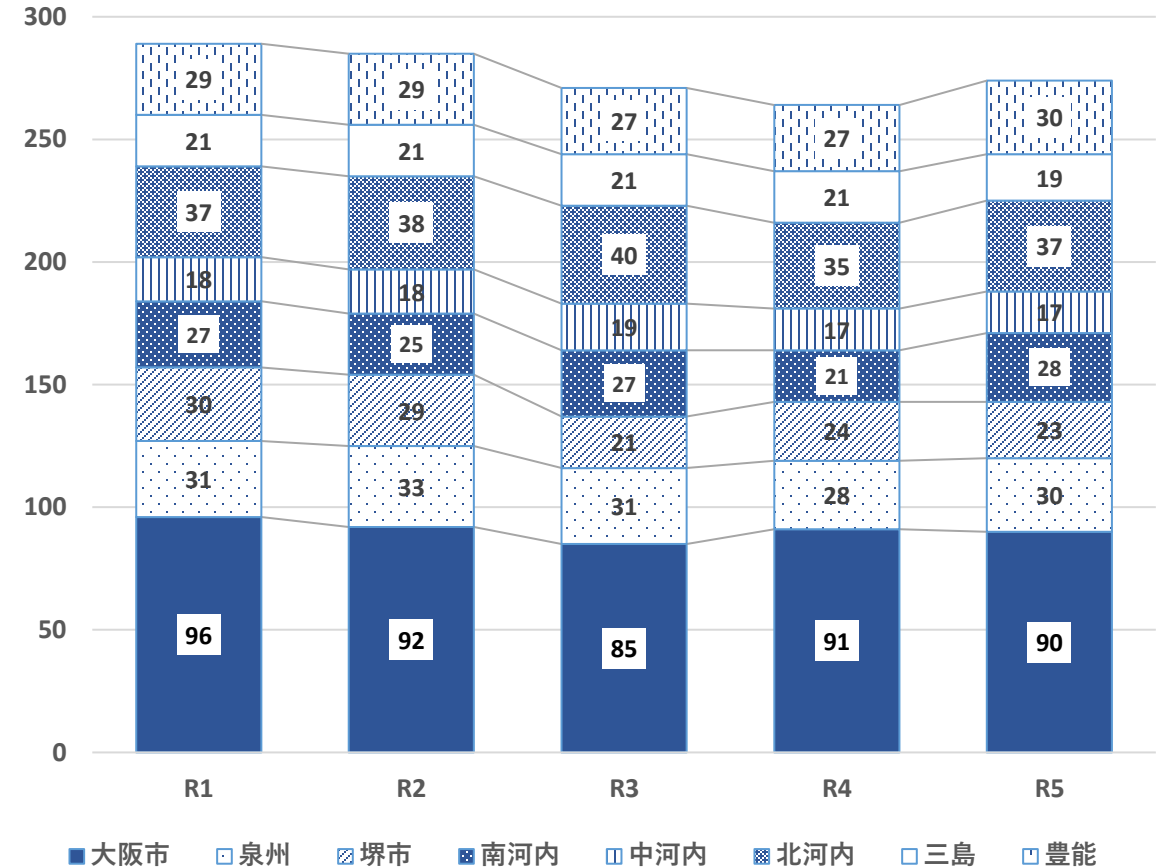
11. 介護支援連携指導料を実施している病院・診療所数

	R1	R2	R3	R4	R5
豊能	29	29	27	27	30
三島	21	21	21	21	19
北河内	37	38	40	35	37
中河内	18	18	19	17	17
南河内	27	25	27	21	28
堺市	30	29	21	24	23
泉州	31	33	31	28	30
大阪市	96	92	85	91	90
大阪府	289	285	271	264	274

出典：NDBデータ(医療計画支援データブック)

介護支援連携指導料：
患者の退院後の介護サービス等を見越した取組を評価するもの

(施設)



介護支援連携指導料を実施している診療所・病院数は、R1からR4にかけて減少傾向だったが、R4と比較してR5は豊能圏域、北河内圏域、南河内圏域、泉州圏域において増加し、大阪府全体ではR4の約1.04倍となった。

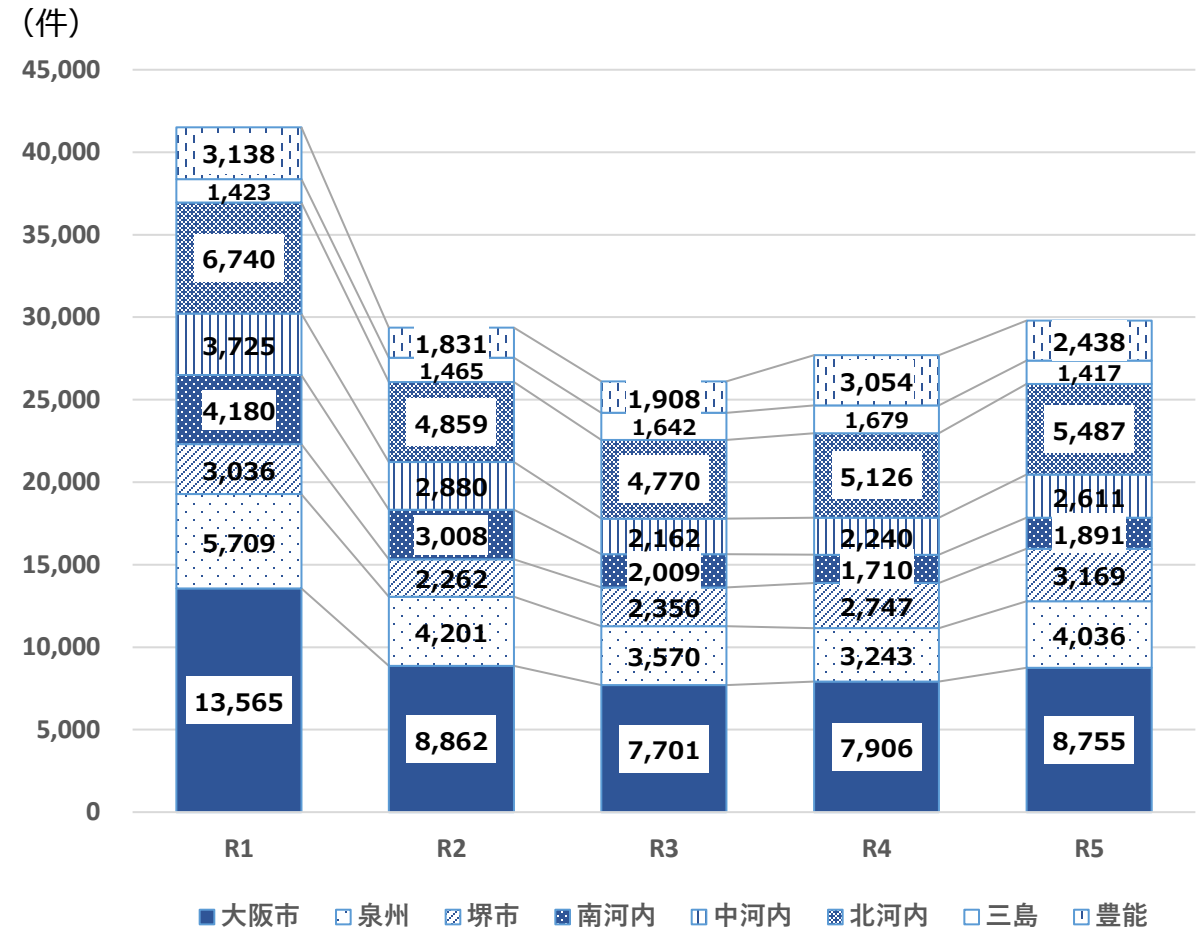
【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑫

12. 入退院機関とケアマネジャーの連携数 (介護支援連携指導料件数)

	R1	R2	R3	R4	R5
豊能	3,138	1,831	1,908	3,054	2,438
三島	1,423	1,465	1,642	1,679	1,417
北河内	6,740	4,859	4,770	5,126	5,487
中河内	3,725	2,880	2,162	2,240	2,611
南河内	4,180	3,008	2,009	1,710	1,891
堺市	3,036	2,262	2,350	2,747	3,169
泉州	5,709	4,201	3,570	3,243	4,036
大阪市	13,565	8,862	7,701	7,906	8,755
大阪府	41,516	29,368	26,112	27,705	29,804

出典：NDBデータ(医療計画支援データブック)

介護支援連携指導料：
患者の退院後の介護サービス等を見越した取組を評価するもの



入退院機関とケアマネジャーの連携数(介護支援連携指導料件数)は、豊能圏域と三島圏域を除く他の圏域でR4より増加し、大阪府全体ではR4の約1.08倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑬

13. 在宅医療情報連携加算を届出した病院・診療所数

	R6	R7	人口10万人 あたり施設数
豊能	44	57	5.4
三島	8	14	1.9
北河内	13	19	1.7
中河内	16	17	2.1
南河内	8	10	1.7
堺市	36	46	5.7
泉州	6	13	1.5
大阪市	109	130	4.7
大阪府	240	306	3.5

出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

調査時点：令和6年7月1日時点/令和7年4月1日時点

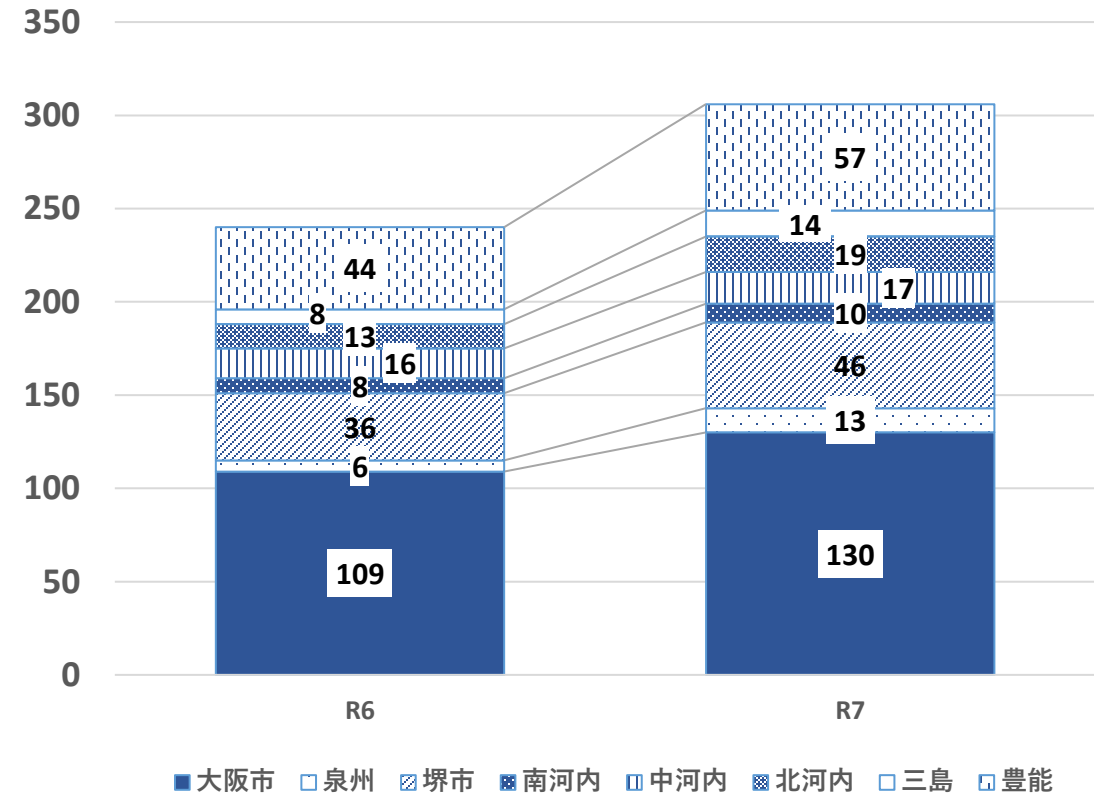
人口は大阪府人口推計 令和7年4月1日現在

令和6年度診療報酬改定で質の高い在宅医療の提供体制の構築を推進する観点から新設された。在宅医療情報連携加算を届出した病院・診療所数は、すべての圏域で増加し、大阪府全体で、R7はR6の約1.3倍となっている。

在宅医療情報連携加算：

他の保険医療機関等の関係職種がICTを用いて記録した患者に係る診療情報等を活用した上で、医師が計画的な医学管理を行った場合の評価

（施設）



【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑭

14. 協力対象施設入所者入院加算を届出した病院・診療所数

	R6	R7	人口10万人 あたり施設数
豊能	4	5	0.47
三島	2	4	0.53
北河内	4	8	0.72
中河内	4	4	0.49
南河内	5	9	1.57
堺市	5	5	0.62
泉州	6	6	0.70
大阪市	13	19	0.68
大阪府	43	60	0.68

出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

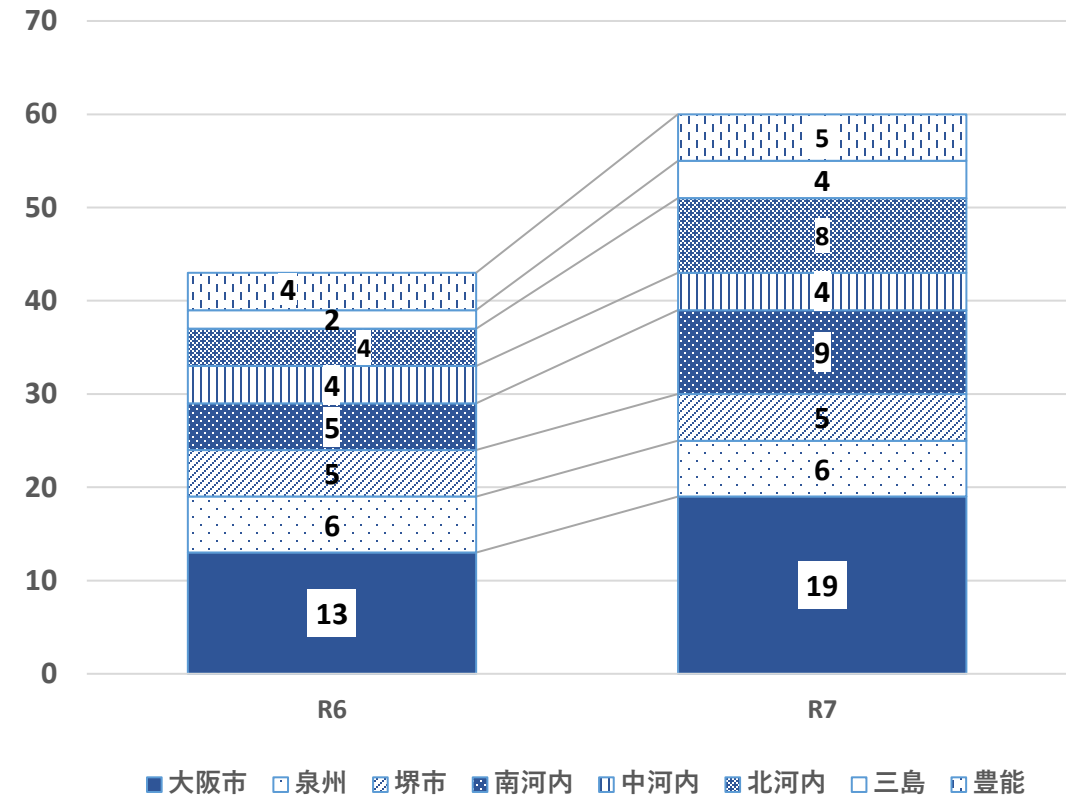
調査時点：令和6年7月1日時点/令和7年4月1日時点

人口は大阪府人口推計 令和7年4月1日現在

協力対象施設入所者入院加算：

介護保険施設等との平時からの連携体制を構築し、入院の必要性を判断し、入院をさせた場合について評価するもの

（施設）



令和6年度診療報酬改定で医療機関と介護保険施設等の適切な連携を推進する観点から新設された。協力対象施設入所者入院加算を届出した病院・診療所数は、中河内圏域、堺市圏域、泉州圏域以外の圏域において増加し、大阪府全体で、R7はR6の約1.4倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑮

15. 介護保険施設等連携往診加算を届出した病院・診療所数

	R6	R7	人口10万人 あたり施設数
豊能	9	12	1.1
三島	5	7	0.9
北河内	5	6	0.5
中河内	5	5	0.6
南河内	5	6	1.0
堺市	10	10	1.2
泉州	4	5	0.6
大阪市	33	35	1.3
大阪府	76	86	1.0

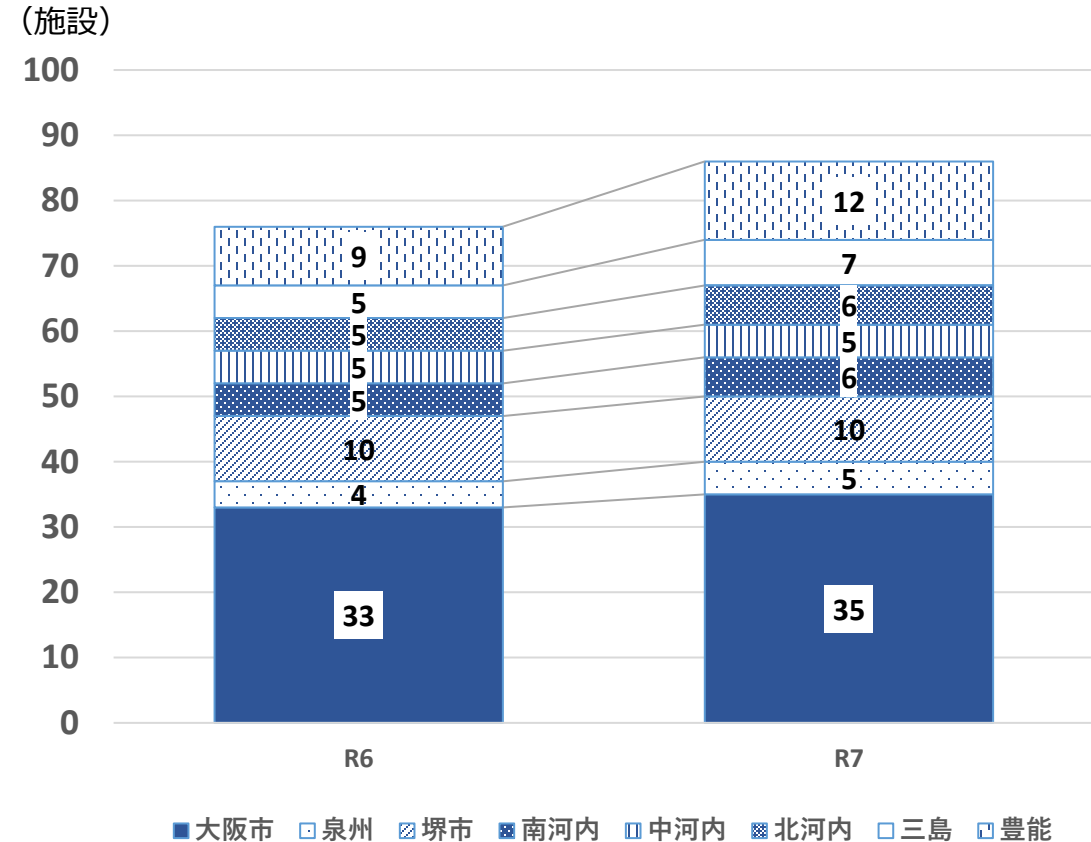
出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

調査時点：令和6年7月1日時点/令和7年4月1日時点

人口は大阪府人口推計 令和7年4月1日現在

介護保険施設等連携往診加算：

介護保険施設等との平時からの連携体制を構築し、急変時の往診を行った場合について評価するもの



令和6年度診療報酬改定で医療機関と介護保険施設等の適切な連携を推進する観点から新設された。介護保険施設等連携往診加算を届出した病院・診療所数は、堺市圏域及び中河内圏域以外の圏域で増加し、大阪府全体で、R7はR6の約1.1倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑬

16. 在宅歯科医療サービスを実施している歯科診療所数

	H29	R2	R5	人口10万人 あたり施設数
豊能	152	220	231	21.8
三島	66	113	121	16.0
北河内	146	213	204	18.2
中河内	139	196	179	22.0
南河内	75	127	112	19.4
堺市	116	181	174	21.4
泉州	115	156	159	18.4
大阪市	469	642	668	24.1
大阪府	1,278	1,848	1,848	21.1
全国	14,927	23,707	22,674	

出典:厚生労働省(医療施設調査)

調査時点:各年10月1日

人口は大阪府人口推計 令和5年10月1日現在

(施設)

2,000

1,800

1,600

1,400

1,200

1,000

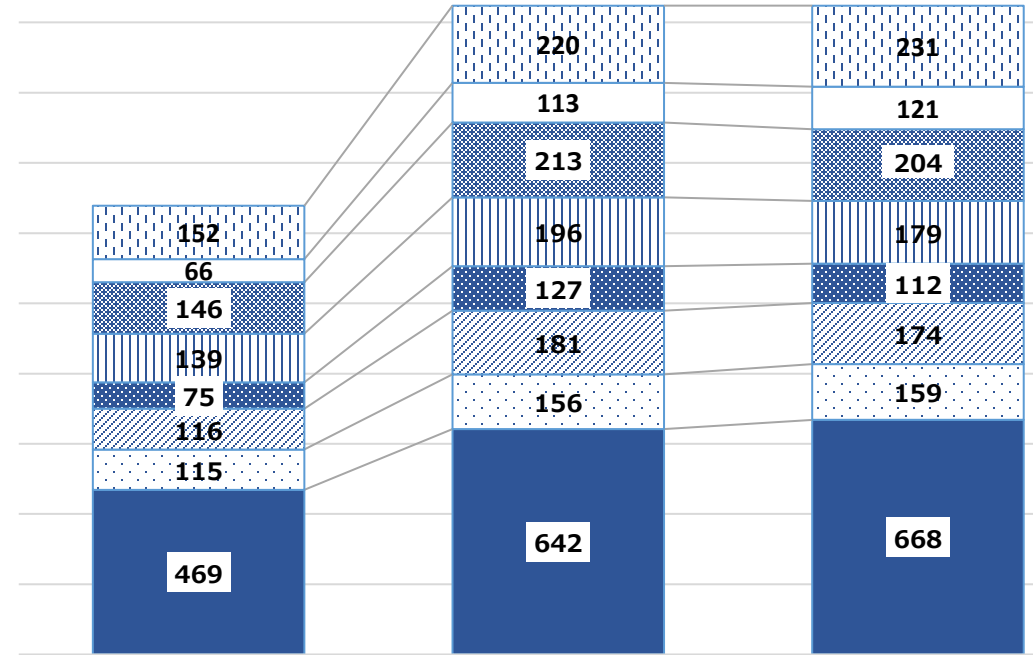
800

600

400

200

0



H29

R2

R5

■ 大阪市 □ 泉州 ▨ 堺市 ▩ 南河内 ▪ 中河内 ▧ 北河内 □ 三島 □ 豊能

在宅歯科医療サービスを実施している歯科診療所数は、R5はH29と比較して増加傾向にあり、大阪府全体では、R5はH29の約1.45倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑪

17. 在宅療養支援歯科診療所数

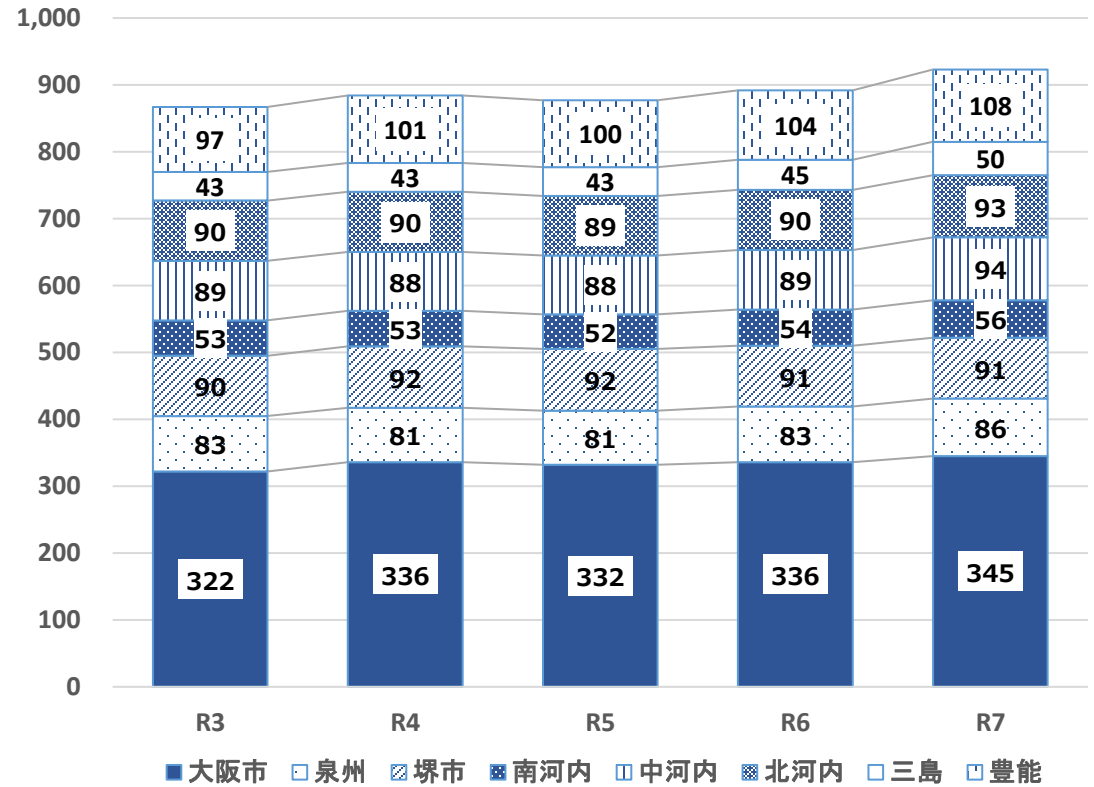
	R3	R4	R5	R6	R7	人口10万人 あたり施設数
豊能	97	101	100	104	108	10.2
三島	43	43	43	45	50	6.6
北河内	90	90	89	90	93	8.4
中河内	89	88	88	89	94	11.6
南河内	53	53	52	54	56	9.8
堺市	90	92	92	91	91	11.3
泉州	83	81	81	83	86	10.0
大阪市	322	336	332	336	345	12.3
大阪府	867	884	877	892	923	10.5

出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

調査時点：各年4月1日

人口は大阪府人口推計 令和7年4月1日現在

（施設）



在宅療養支援歯科診療所は、堺市圏域以外の全ての圏域で増加し、大阪府全体でR7はR6の約1.03倍となった。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況18

18. 在宅薬学総合体制加算を届出した薬局数

	R6	R7	人口10万人 あたり施設数
豊能	294	309	29.2
三島	199	212	28.1
北河内	300	316	28.5
中河内	193	200	24.7
南河内	162	169	29.7
堺市	239	251	31.2
泉州	201	219	25.6
大阪市	924	990	35.4
大阪府	2,512	2,666	30.4

出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

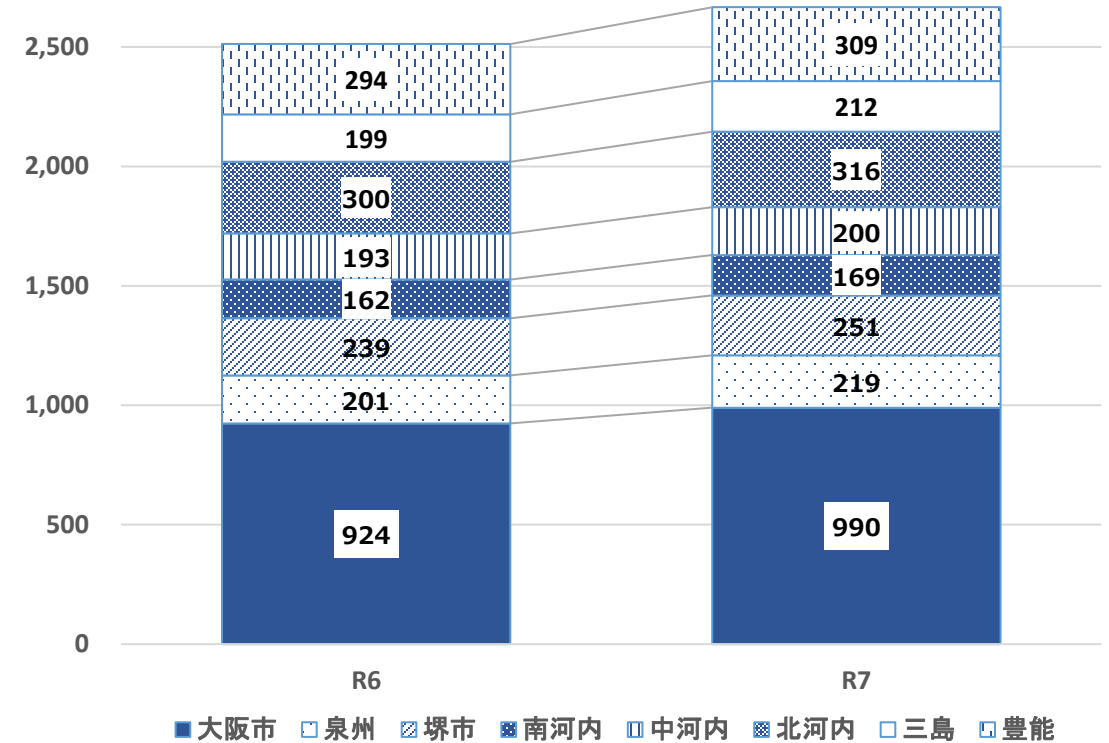
調査時点：令和6年7月1日時点/令和7年4月1日時点

人口は大阪府人口推計 令和7年4月1日現在

在宅薬学総合体制加算：

在宅業務を行っている薬局が、厚生労働省が定める施設要件を満たせば算定できる加算

（施設）



令和6年度調剤報酬改定で評価体系が見直された。新設の「在宅薬学総合体制加算」を届出した薬局数はR6の大阪府全体で2,512件と、従来の「在宅患者調剤加算」の2,505件から増加。R7は全ての圏域で増加し、大阪府全体ではR6の約1.06倍となっている。

参考：R6まで【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況

(参考)在宅患者調剤加算を届出した薬局数

	R2	R3	R4	R5	R6	人口10万人 あたり施設数
豊能	219	227	245	257	279	26.4
三島	157	158	166	181	196	25.9
北河内	237	255	277	280	301	27.0
中河内	155	165	175	180	197	24.3
南河内	115	132	141	157	165	28.7
堺市	171	183	201	213	234	28.9
泉州	148	157	170	176	208	24.1
大阪市	693	743	810	845	925	33.3
大阪府	1,895	2,020	2,185	2,289	2,505	28.6

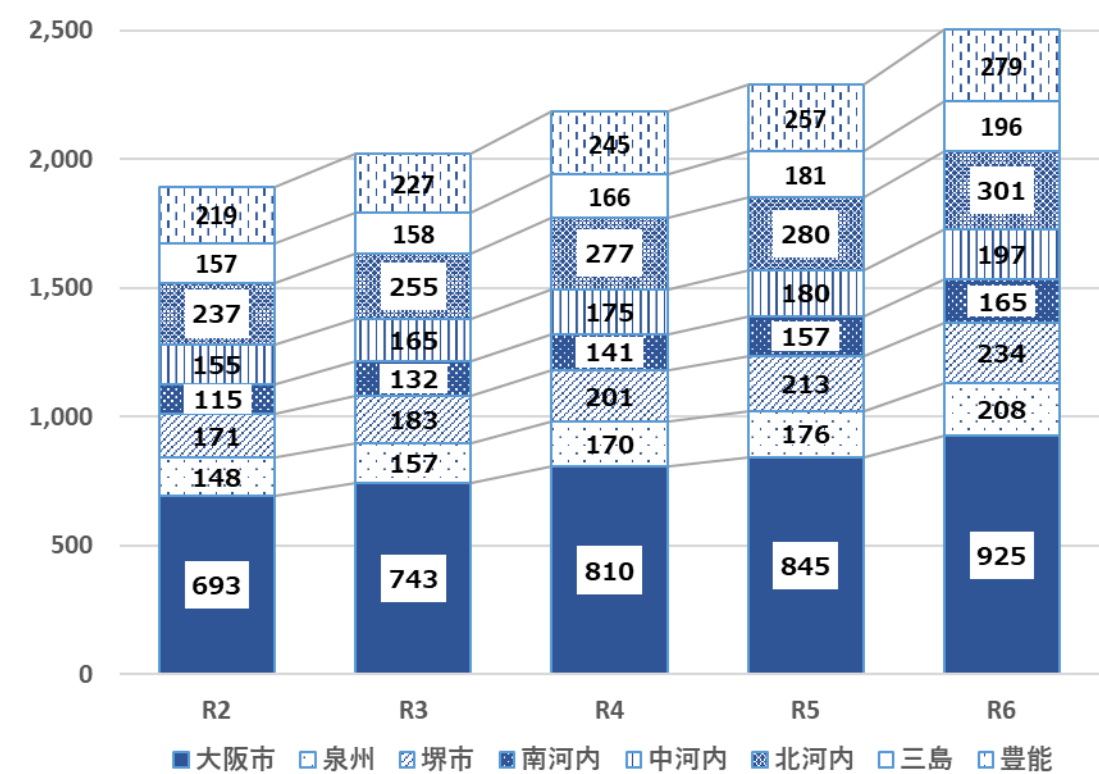
出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

調査時点：各年4月1日

人口は大阪府人口推計 令和6年4月1日現在

在宅患者調剤加算：
在宅業務を行っている薬局が、厚生労働省が求める施設要件を満たせば算定できる加算

（施設） ※令和6年度調剤報酬改定で廃止され、「在宅薬学総合体制加算」に移行



在宅患者調剤加算を届出した薬局は、R2からR6の間、全圏域において前年を上回り順調に伸びている。
大阪府全体では、R6はR2の約1.32倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑬

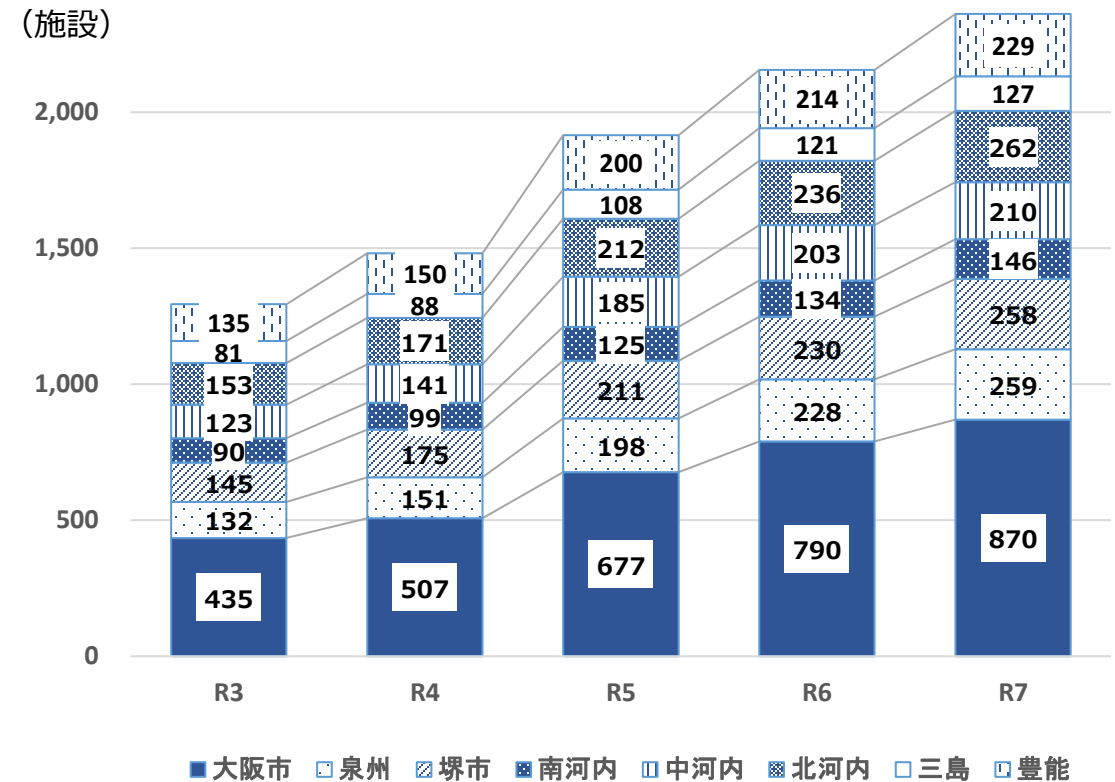
19. 訪問看護ステーション数

	R3	R4	R5	R6	R7	人口10万人 あたり施設数
豊能	135	150	200	214	229	21.6
三島	81	88	108	121	127	16.8
北河内	153	171	212	236	262	23.6
中河内	123	141	185	203	210	26.0
南河内	90	99	125	134	146	25.6
堺市	145	175	211	230	258	32.1
泉州	132	151	198	228	259	30.3
大阪市	435	507	677	790	870	31.1
大阪府	1,294	1,482	1,916	2,156	2,361	26.9

出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

調査時点：各年4月1日

人口は大阪府人口推計 令和7年4月1日現在



訪問看護ステーション数は、R3からR7の間、全圏域において前年を上回り順調に伸びている。
大阪府全体では、R7はR3の約1.82倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況②⑩

20. 訪問看護師によるターミナルケアを受けた患者数

	R3	R4	R5
豊能	329	473	475
三島	468	588	593
北河内	1,042	1,250	1,219
中河内	273	342	379
南河内	1,368	1,445	1,455
堺市	1,536	1,633	1,622
泉州	2,474	2,549	2,583
大阪市	1,999	2,327	2,287
大阪府	9,489	10,607	10,613

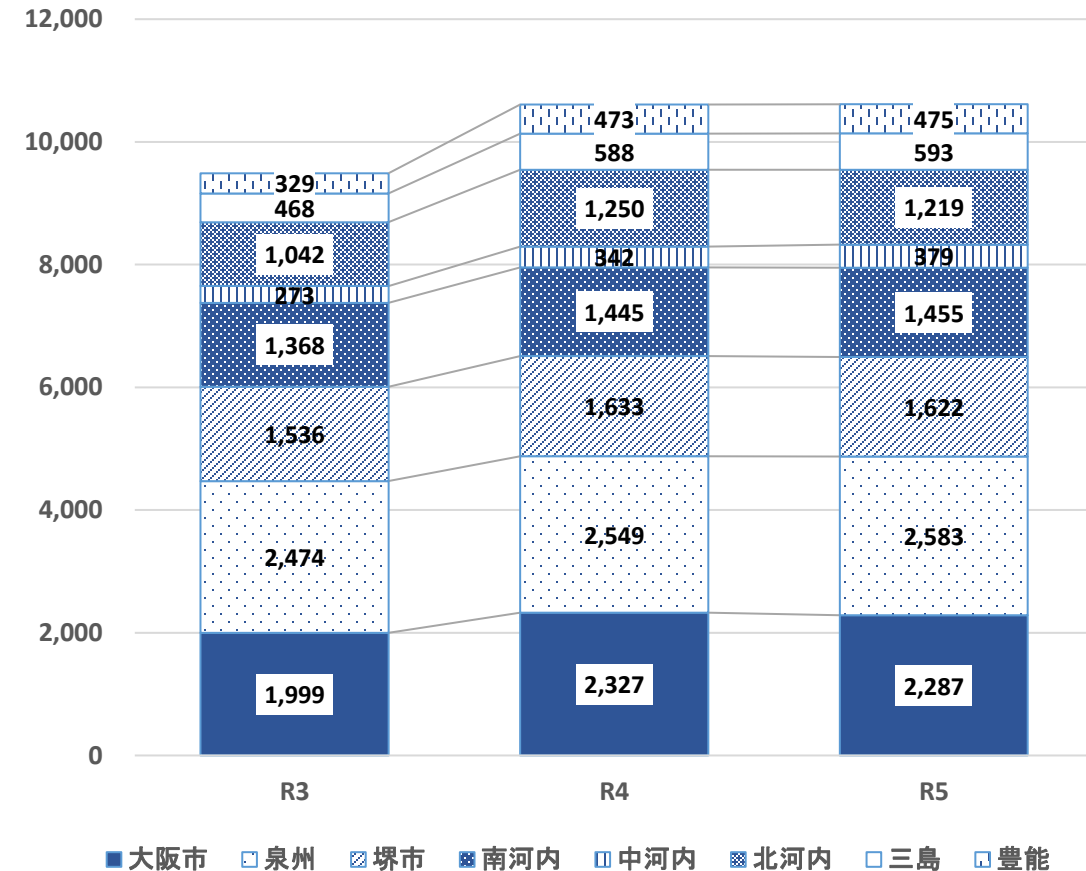
出典：NDBデータ(医療計画支援データブック)

NDB、介護DB、訪問看護レセプトの合計を使用

訪問看護レセプトのみ、令和4年6月分のみしかデータがないため、令和3年度と令和5年度の
数値は令和4年度の実績を用いている。

ターミナルケアを受けた患者数：
患者の退院後の介護サービス等を見越した取組を評価するもの

(人)



訪問看護師によるターミナルケアを受けた患者数は、R4と比較してR5は北河内圏域、堺市圏域、大阪市圏域で減少しているが、大阪府全体で微増となっている。

まとめ

- ◆ 訪問診療について、大阪府全体では、訪問診療を実施する病院・診療所の伸び(1.01倍)よりも訪問診療件数の伸び(1.51倍)が大きく、看取りにおいても同様の傾向となっている。また、訪問診療件数の伸び(1.51倍)よりも看取り件数の伸び(1.81倍)が大きくなっている。
(上記の伸び率は、すべてH29年からR5年までの増加分)
- ◆ 在宅療養支援診療所数は、診療報酬の改定により、施設基準が変更されたことによって数はR5年に減少したが、その後は、増加に転じている。在宅療養支援病院や在宅療養後方支援病院は増加傾向にあり、病院が在宅医療の支援を強化していると考えられる。
- ◆ 在宅薬学総合体制加算を届出している薬局数は、調剤報酬改定前の在宅患者調剤加算の届け出数を引き継いで順調に増加。訪問看護ステーション数も全ての圏域で、年々増加している。

Ⅱ 大阪市圏域における区別データ

【区別】大阪市圏域の状況

1. 人口と高齢化率

市町村	2022年（R4年）			2023年（R5年）			2024年（R6年）			2025年（R7年）		
	人口	うち 6 5 歳以上	高齢化率	人口	うち 6 5 歳以上	高齢化率	人口	うち 6 5 歳以上	高齢化率	人口	うち 6 5 歳以上	高齢化率
北区	134,184	24,531	18.3%	136,637	24,592	18.0%	138,945	24,724	17.8%	141,357	24,938	17.6%
都島区	105,238	25,826	24.5%	105,343	25,707	24.4%	106,172	25,929	24.4%	106,872	25,903	24.2%
淀川区	180,171	41,169	22.8%	181,197	40,914	22.6%	182,540	40,720	22.3%	184,388	40,448	21.9%
東淀川区	171,018	42,536	24.9%	171,158	42,214	24.7%	171,536	42,111	24.5%	171,844	41,953	24.4%
旭区	89,729	26,544	29.6%	89,393	26,300	29.4%	90,111	26,118	29.0%	90,613	25,867	28.5%
福島区	78,426	15,028	19.2%	79,199	14,926	18.8%	80,985	14,878	18.4%	82,015	14,811	18.1%
此花区	65,571	17,932	27.3%	65,269	17,704	27.1%	64,760	17,551	27.1%	64,155	17,423	27.2%
西区	103,817	16,101	15.5%	105,944	16,141	15.2%	108,340	16,346	15.1%	110,826	16,457	14.8%
港区	79,526	21,697	27.3%	79,247	21,443	27.1%	79,362	21,242	26.8%	80,247	21,093	26.3%
大正区	63,283	19,977	31.6%	62,503	19,673	31.5%	61,666	19,466	31.6%	61,890	19,262	31.1%
西淀川区	97,324	24,793	25.5%	97,337	24,595	25.3%	97,910	24,450	25.0%	98,386	24,368	24.8%
中央区	108,628	16,626	15.3%	112,405	16,797	14.9%	115,616	16,962	14.7%	118,771	17,037	14.3%
天王寺区	80,364	15,751	19.6%	81,573	15,828	19.4%	82,881	16,020	19.3%	84,726	16,293	19.2%
浪速区	71,265	12,650	17.8%	73,794	12,559	17.0%	76,774	12,447	16.2%	79,032	12,286	15.5%
東成区	84,370	20,850	24.7%	84,985	20,614	24.3%	85,478	20,456	23.9%	86,902	20,427	23.5%
生野区	125,700	37,545	29.9%	125,938	36,992	29.4%	126,376	36,648	29.0%	126,884	36,266	28.6%
城東区	170,334	43,120	25.3%	169,828	42,794	25.2%	169,335	42,621	25.2%	170,197	42,550	25.0%
鶴見区	112,801	25,406	22.5%	112,177	25,263	22.5%	111,880	25,247	22.6%	111,616	25,383	22.7%
阿倍野区	111,216	27,853	25.0%	111,488	27,695	24.8%	111,459	27,690	24.8%	112,617	27,698	24.6%
住之江区	118,987	36,731	30.9%	117,991	36,689	31.1%	117,506	36,641	31.2%	117,229	36,560	31.2%
住吉区	152,157	41,949	27.6%	151,500	41,531	27.4%	151,786	41,306	27.2%	152,260	41,057	27.0%
東住吉区	131,209	37,088	28.3%	131,440	36,628	27.9%	132,223	36,543	27.6%	133,291	36,375	27.3%
平野区	192,132	54,181	28.2%	190,366	53,490	28.1%	188,716	53,031	28.1%	187,648	52,709	28.1%
西成区	104,747	39,114	37.3%	104,875	37,900	36.1%	105,285	37,115	35.3%	105,151	36,151	34.4%
大阪府	8,800,753	2,383,870	27.1%	8,784,421	2,369,650	27.0%	8,775,708	2,364,440	26.9%	8,771,961	2,356,167	26.9%
全国	125,927,902	35,929,389	28.5%	125,416,877	35,888,947	28.6%	124,885,175	35,925,760	28.8%	124,330,690	35,916,427	28.9%

【区別】大阪市圏域の状況

2. 世帯数と高齢者単身世帯の割合

	2015年（H27年）			2020年（R2年）		
	世帯数	高齢単身者 世帯数	高齢単身者 世帯の割合 （%）	世帯数	高齢単身者 世帯数	高齢単身者 世帯の割合 （%）
北区	74,182	7,209	9.7	85,785	7,447	8.7
都島区	51,549	6,619	12.8	56,944	7,384	13.0
淀川区	94,460	12,351	13.1	104,193	12,886	12.4
東淀川区	92,536	12,219	13.2	99,699	13,567	13.6
旭区	43,700	7,212	16.5	45,303	8,131	17.9
福島区	37,510	3,635	9.7	42,631	3,987	9.4
此花区	30,712	4,467	14.5	32,318	5,202	16.1
西区	52,138	3,934	7.5	63,874	4,761	7.5
港区	40,348	6,019	14.9	42,612	6,715	15.8
大正区	29,209	5,162	17.7	29,859	5,877	19.7
西淀川区	42,924	6,090	14.2	46,266	6,722	14.5
中央区	59,084	5,500	9.3	67,139	5,588	8.3

	2015年（H27年）			2020年（R2年）		
	世帯数	高齢単身者 世帯数	高齢単身者 世帯の割合 （%）	世帯数	高齢単身者 世帯数	高齢単身者 世帯の割合 （%）
天王寺区	38,058	4,121	10.8	42,163	4,468	10.6
浪速区	47,541	5,303	11.2	53,297	6,014	11.3
東成区	39,683	5,518	13.9	45,487	6,006	13.2
生野区	63,622	13,108	20.6	67,616	11,253	16.6
城東区	76,455	10,967	14.3	82,712	12,663	15.3
鶴見区	46,358	5,374	11.6	48,884	6,321	12.9
阿倍野区	50,104	7,780	15.5	53,649	7,970	14.9
住之江区	56,920	9,365	16.5	59,913	10,943	18.3
住吉区	71,718	11,905	16.6	78,098	13,288	17.0
東住吉区	57,797	10,036	17.4	62,025	10,846	17.5
平野区	88,960	14,720	16.5	92,872	16,366	17.6
西成区	69,225	22,456	32.4	66,379	18,855	28.4
大阪府	3,923,887	520,292	13.3	4,135,879	567,399	13.7
全国	53,448,685	5,927,686	11.1	55,830,154	6,716,806	12.0

出典：総務省「国勢調査 都道府県・市区町村別主要統計表」調査時点は各年10月1日

【区別】大阪市圏域の状況

3. 病院死と自宅死、老人ホーム死の割合

	2022年（R4年）			2023年（R5年）			2024年（R6年）		
市町村	病院死の割合（％）	自宅死の割合（％）	老人ホーム死の割合（％）	病院死の割合（％）	自宅死の割合（％）	老人ホーム死の割合（％）	病院死の割合（％）	自宅死の割合（％）	老人ホーム死の割合（％）
北区	56.3	29.8	9.3	61.5	25.2	8.7	61.8	23.7	9.5
都島区	58.9	25.6	10.2	62.0	23.6	9.9	63.6	23.7	9.1
淀川区	59.7	25.7	6.6	58.6	27.4	7.0	60.6	23.6	9.1
東淀川区	63.0	23.8	8.2	63.2	23.5	9.2	62.8	24.4	9.0
旭区	60.8	24.6	9.6	57.7	23.6	15.2	62.5	21.2	12.7
福島区	62.5	25.2	8.4	61.5	23.3	9.6	65.9	19.5	8.3
此花区	67.6	22.1	7.8	67.0	22.2	7.0	68.9	20.0	7.1
西区	78.9	13.3	3.9	93.2	2.7	1.9	68.1	18.8	6.5
港区	67.1	21.2	6.1	66.8	20.5	7.9	65.5	20.3	8.2
大正区	67.7	20.7	4.4	66.2	19.6	6.0	68.9	17.4	7.2
西淀川区	59.3	23.5	7.6	56.7	21.7	10.4	52.4	23.0	12.4
中央区	65.6	23.1	6.8	63.9	23.1	8.0	62.9	24.3	8.4

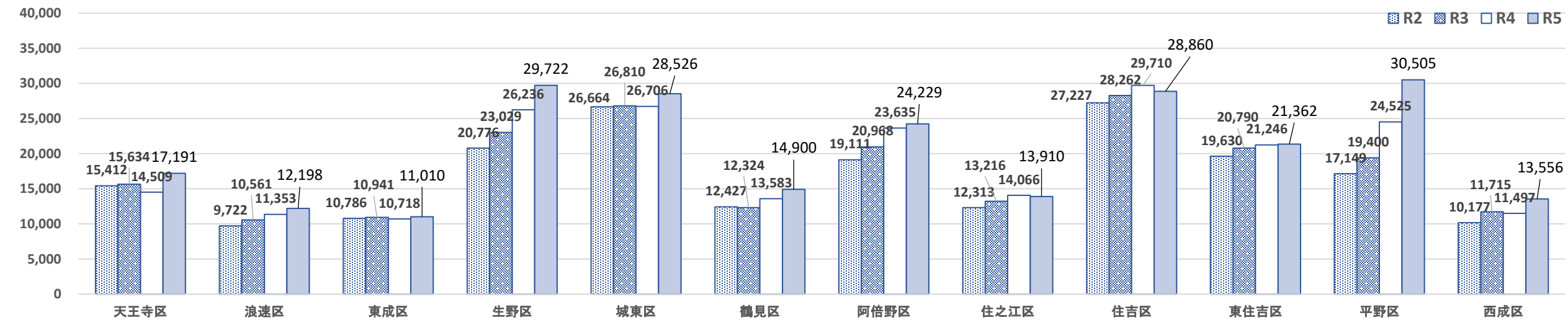
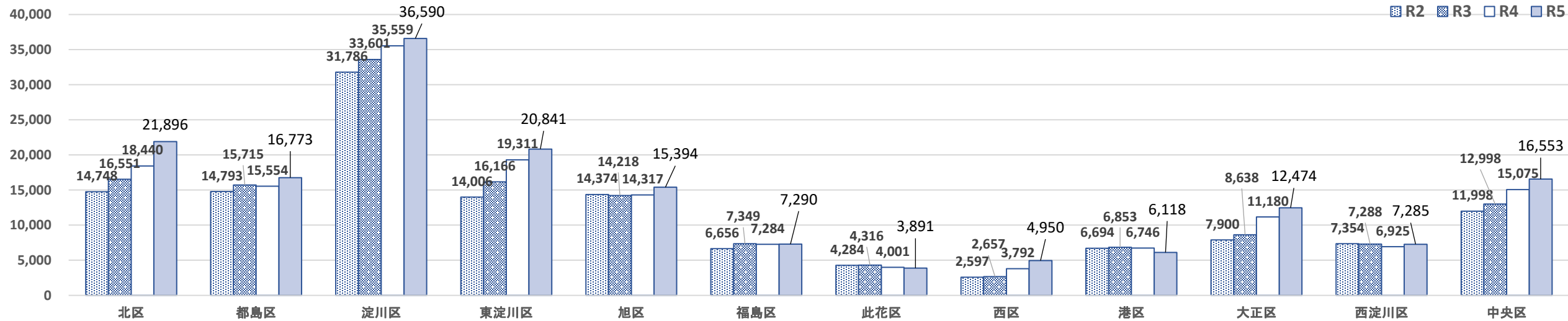
	2022年（R4年）			2023年（R5年）			2024年（R6年）		
市町村	病院死の割合（％）	自宅死の割合（％）	老人ホーム死の割合（％）	病院死の割合（％）	自宅死の割合（％）	老人ホーム死の割合（％）	病院死の割合（％）	自宅死の割合（％）	老人ホーム死の割合（％）
天王寺区	57.8	24.9	10.3	60.4	24.8	9.4	60.3	24.4	11.2
浪速区	63.4	24.4	7.4	56.7	28.2	9.0	65.0	18.8	10.3
東成区	57.3	25.5	10.6	58.3	23.0	12.1	60.3	23.0	10.8
生野区	61.4	20.8	12.5	60.0	20.7	14.0	61.1	21.0	13.6
城東区	62.3	23.8	9.3	62.3	23.4	9.9	61.3	22.8	10.4
鶴見区	66.7	23.3	6.3	63.6	23.2	8.8	66.0	21.9	8.3
阿倍野区	65.0	20.3	9.7	64.2	20.7	11.1	66.3	20.6	9.0
住之江区	63.3	18.2	11.1	65.8	17.5	10.6	65.7	16.2	10.8
住吉区	63.0	24.0	9.6	65.1	21.5	10.0	66.4	21.1	9.3
東住吉区	59.5	22.5	12.9	59.2	21.4	13.6	57.7	23.5	13.9
平野区	61.7	23.7	10.6	61.2	24.1	11.1	60.5	23.4	12.0
西成区	60.7	28.0	6.9	63.8	24.7	7.9	63.7	24.0	8.7
大阪府	64.0	21.4	9.7	64.1	20.7	10.4	63.9	20.4	10.8
全国	64.5	17.4	11.0	64.4	17.0	11.5	64.4	16.4	12.2

出典：厚生労働省「人口動態調査」

【区別】大阪市圏域の状況

1. 訪問診療を受けた患者数(NDB)

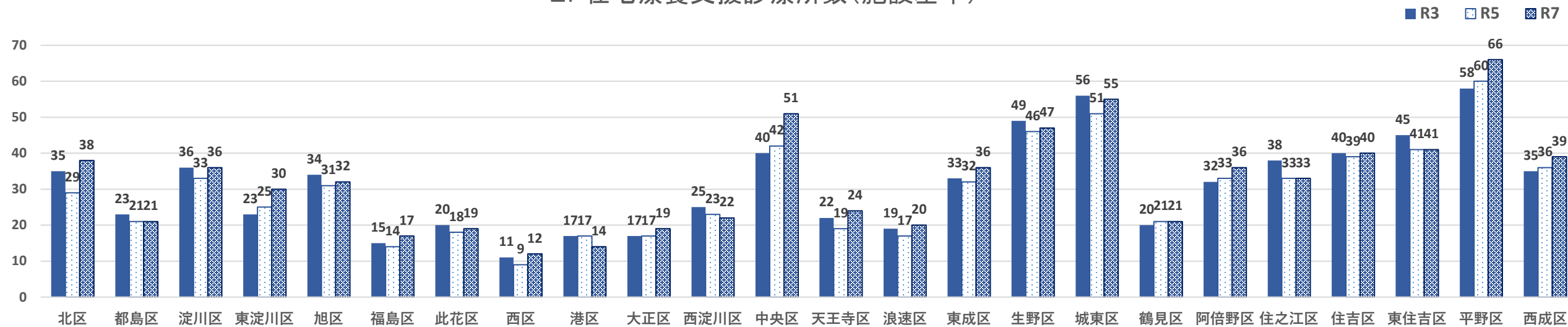
(人)



【区別】大阪市圏域の状況

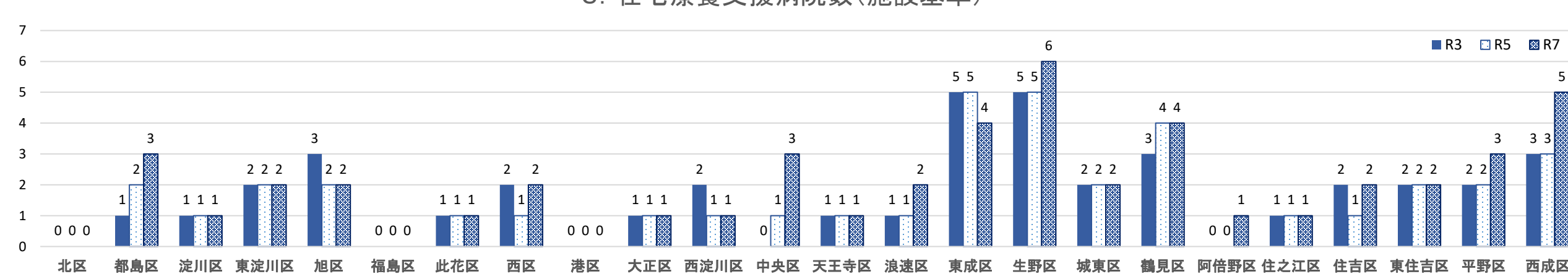
(施設)

2. 在宅療養支援診療所数(施設基準)



(施設)

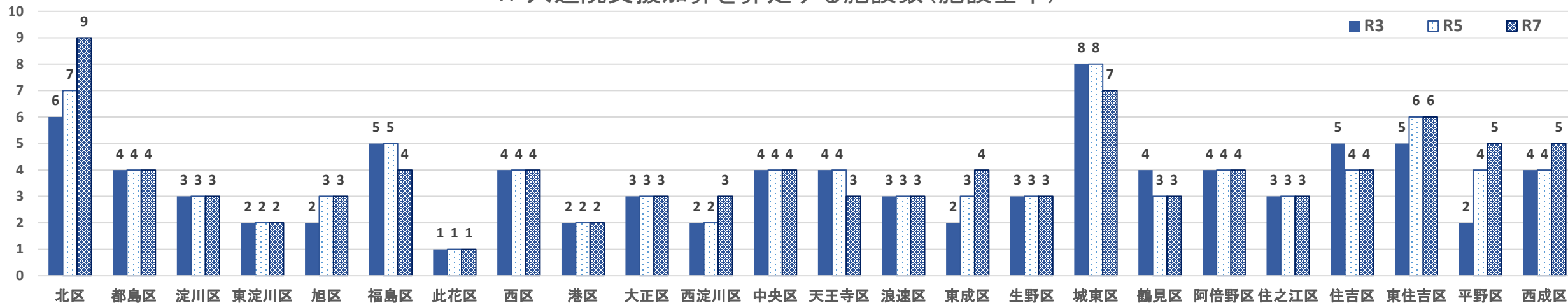
3. 在宅療養支援病院数(施設基準)



【区別】大阪市圏域の状況

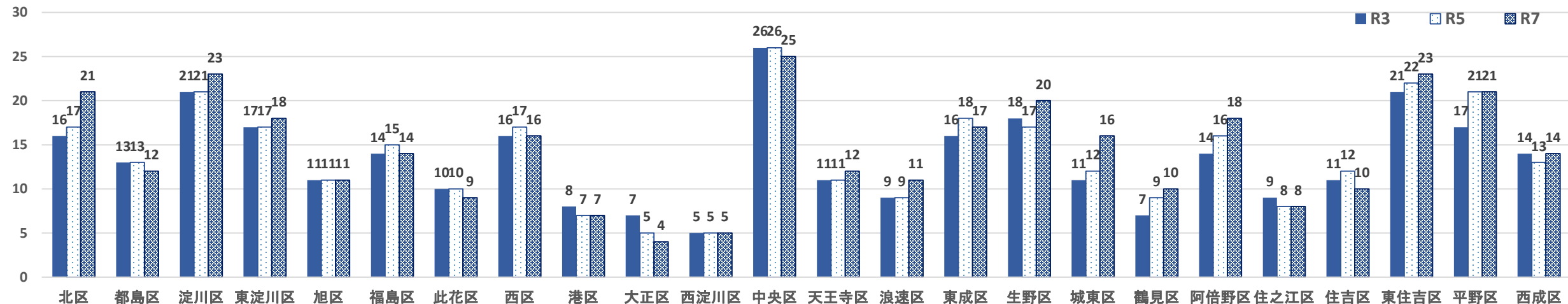
(施設)

4. 入退院支援加算を算定する施設数(施設基準)



(施設)

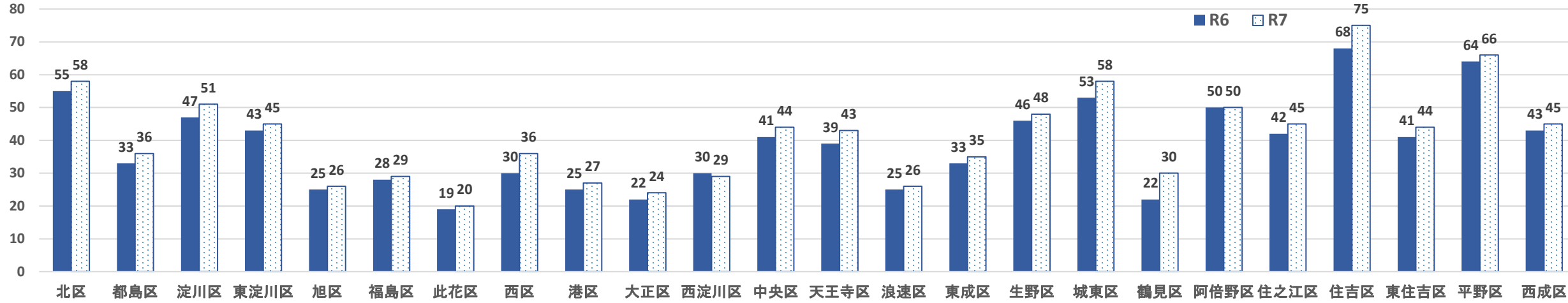
5. 在宅療養支援歯科診療所数(施設基準)



【区別】大阪市圏域の状況

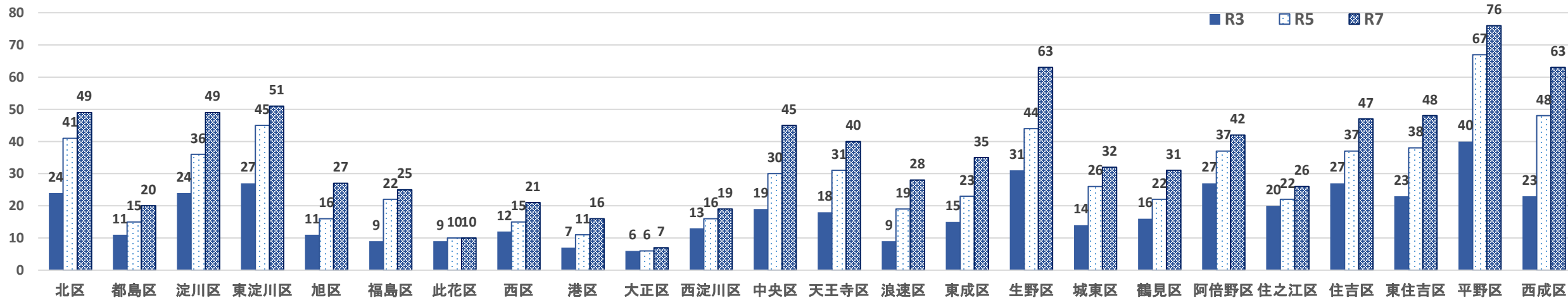
(施設)

6. 在宅薬学総合体制加算を届出した薬局数(施設基準)



(施設)

7. 訪問看護ステーション数(施設基準)



(参考)大阪市圏域の状況

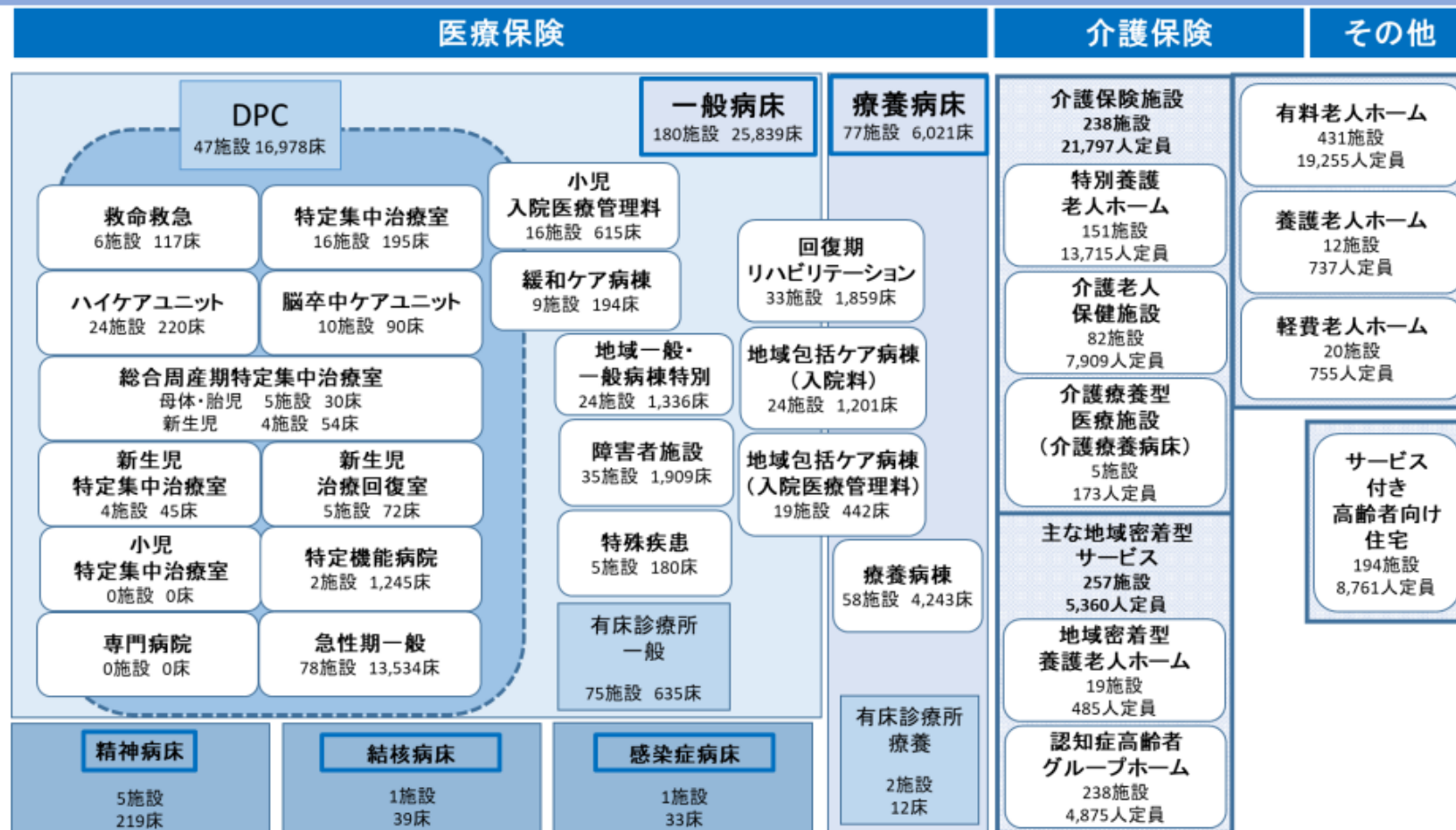
令和7年2月10日第2回大阪府大阪市保健医療連絡協議会資料1-1より抜粋

①(2) 医療体制の概要(医療介護提供体制(大阪市))

大阪市

医療・介護提供体制は、多くの機能を有する施設から構成されている。

回復期リハビリ病床と地域包括ケア病床の病床数の割合の比は、約1対1となっている。



出典：「医療保険」：精神病床・結核病床・感染症病床は大阪府健康医療部調べ（令和6年9月1日時点）、それ以外は令和5年度病床機能報告（令和5年7月1日時点）
「介護保険」・「その他」：大阪府福祉部調べ（令和6年4月1日時点）、ただし、認知症高齢者グループホーム定員数及びサービス付き高齢者向け住宅の施設数は令和6年3月31日時点）